

令和 8 年度

学校要覧

教育計画



北海道当別高等学校

校 訓

誠

実

「誠実」は思いやりとまごころをもってものごとをなし遂げることであり、自己の誤謬と虚偽を否定し、ごまかしのない真実を求める人間の主体的良心である。

これは新しい未来を築く道徳であり、現在に最善をつくし、未来に真実を求める人間の完結なき課題である。

校 章



校章の白地及び外郭六稜は雪の結晶を表し、風雪にめげない心の強さと雪のような清らかさを期待し、さらに各稜はペン先を表現し勉学に励む願いが込められている。

中央の「高」の周りには当別の「当」の文字を配し、地域の高校生としての心意気を表している。

S 28.12制定

校 歌

作 詩 宇 戸 節 子
補 筆 校歌制定委員会
作 曲 河 地 良 智
補修編曲 田 中 郁 夫

一 石狩の緑の大地萌え立ちて
高嶺のすそに開ける母校
力と業と協力と
希望あふるる自由の園を
我等 築かん
あ、 当別高校

二 石狩の川面に映ゆる深緑と
清き流れに栄ゆる母校
力と業と前進と
叡智をみがき真理の道を
我等 極めん
あ、 当別高校

三 石狩の空高くして青雲の
高き理想に伸びゆく母校
力と業と創造と
未来を創る友の手を
我等 結ばん
あ、 当別高校

(昭和38年3月3日制定)

沿 革 概 要

学校沿革

- 昭和24.3.1 北海道江別高等学校当別分校として創立
定時制課程普通科1間口を当別小学校に設置
- 25.3.31 学区変更により北海道札幌西高等学校当別分校と改称
- 25.10.26 当別中学校に校舎移転
- 27.11.1 道教委、市町村学校設置認可臨時特例により北海道当別高等学校と改称
- 33.5.1 専任学校長発令
- 34.9.15 当別町議会にて、本校独立校舎建築決定
- 35.1.20 独立校舎完成に伴い、当別中学校により現在地に移転
- 36.1.26 全日制課程普通科3間口設置認可
- 36.4.9 全日制第1回入学式挙行
- 38.3.3 校歌制定（卒業式にて発表）
- 38.12.15 独立校舎建築工事完了
- 39.3.8 全日制第1回（定時制課程第12回）卒業式挙行
- 39.3.31 道立移管認可
- 42.4.1 全日制課程普通科1間口を全日制課程家政科に転換
定時制課程普通科を定時制課程農業科に転換
- 43.9.12 創立20周年記念式典挙行
- 45.3.10 全日制課程家政科第1回卒業式挙行
定時制課程農業科第1回卒業式挙行
- 47.4.1 全日制課程普通科1間口増
- 50.4.1 全日制課程普通科1間口増
- 53.10.26 開校30周年記念式典挙行
- 55.7.11 校舎改築工事着工
- 55.7.15 校舎改築第1期工事着工
- 58.3.15 校舎改築第3期工事完成 7,137.05㎡
- 58.3.20 新校舎移転使用開始
- 58.9.10 旧校舎解体完了
- 58.11.11 屋内体育館・格技場改築工事完成
- 58.11.15 校舎改築工事完成
- 59.9.24 新校舎落成記念式典挙行
- 平成元.4.1 学校教育法、北海道立高等学校学則等の改正により定時制農業科修業年限3年又は4年となる
- 3.4.1 コース制導入全日制家政科（教養コース デザインコース）
定時制農業科（園芸科学コース 食品流通コース）
- 8.2.23 防球ネット嵩上工事完成
- 9.12.3 テニスコート補修工事
- 10.10.31 開校50周年記念式典挙行
- 11.9.2 屋内体育館暖房設備及びトイレシャワー棟工事完成
- 14.8.27 教育情報化設備整備工事（校内LAN）完成
- 17.1.20 校舎大規模改修工事（第1期）完成
- 17.4.1 全日制課程普通科1間口減
- 18.1.16 校舎大規模改修工事（第2期）完成
- 19.4.10 全日制課程農業科第1回入学式挙行
- 20.4.9 全日制課程園芸デザイン科第1回入学式挙行
- 21.3.31 定時制課程農業科閉課
- 22.3.1 全日制課程農業科第1回卒業式挙行
- 23.3.1 全日制課程園芸デザイン科第1回卒業式挙行
- 25.12.9 スウェーデンレクサンドへ短期研修生（2名）派遣
- 27.4.1 平成27年度就職指導の改善に関する研究指定校
- 27.7.30-31 第63回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会北海道実行委員会事務局校
- 29.4.1 全日制課程普通科1間口減
- 令和2.3.24 道立学校教育情報通信ネットワーク環境整備工事完成
- 3.4.21 「北海道CLASSプロジェクト（地学協働活動推進実証事業）」研究指定校（3年間）
- 3.9.30 北海道高等学校家庭クラブ連盟研究大会・総会事務局校
- 4.3.17 トイレ洋式化工事完成
- 5.11.30 当別町商工会との連携協定
- 6.4.1 コミュニティ・スクール導入
- 7.3.27 菓子企業との連携協定
- 7.9.1 道立学校クラウドファンディング事業実施

目 次

「学校要覧」

校訓 校章 校歌

沿革概要

I 教 育 方 針

北海道教育のめざす姿 石狩管内教育推進の重点 1

学校教育目標等 2

II 学 校 組 織

校内分掌組織 3

校 内 組 織 4

火気取締・管理責任者 5

防災隊組織 6

生徒会組織・農業クラブ組織・家庭クラブ組織 7

PTA・体育文化後援会・同窓会 8

III 生徒の概況

在籍生徒数・通学地域別生徒数 9

出身中学校別生徒数 10

通学形態別生徒数・バス通学生徒数・列車通学駅別生徒数 11

通学時間別生徒数・通学費用別生徒数・卒業生概況 12

卒業後の進路状況 13～14

IV 行事予定表

行事予定表 15～16

「教育計画」

V 教 育 計 画

教育課程 17

学年別教育課程表 18

入学生教育課程表 19

指導計画

(1) 分 掌 20～29

(2) 学 年 会 30～32

(3) 園芸デザイン科 33～36

(4) 家 政 科 37

(5) 各種委員会等 38～41

(6) 道徳教育全体計画 42

(7) 特別活動全体計画 43

(8) 学校保健計画 44～45

(9) 学校安全計画 46

Ⅰ 教 育 方 針

北海道教育のめざす姿

基本理念

自立

自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、
自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む

共生

ふるさとへの誇りと愛着を持ち、
これからの社会に貢献し、友に支え合う人を育む

令和 8 年度 石狩管内教育推進の重点

【高等学校】 テーマ「子どもの未来保障」

高等学校の取組・評価

- ☐ 必要な資質・能力を確実に身に付けさせる「生徒主体」の授業の構築と実践
- ☐ 資質・能力の定着状況を確実に把握するための「観点別学習状況の評価」の充実
- ☐ 学校組織の重要性を理解することができる人材を育成する意図的な学校組織体制の強化・活性化
- ☐ 危機管理等に対する組織的な対応の充実
- ☐ 情報活用能力を育成するための小・中学校との積極的な連携
- ☐ 探究型の学習活動の充実を図るための地域の教育資源の活用の促進
- ☐ 地域住民等へのスクール・ミッションの周知の促進

石狩教育局の重点・重点推進の取組・北海道教育推進計画の施策

【重点 1】資質・能力を確実に身に付ける教育の推進～子どもの学びを伸ばす～

○ 子どもの学びを伸ばす

【取組 1】新しい時代に必要な資質・能力の育成

【取組 2】認め・励まし・支え合う社会的資質・能力の育成

【施策の柱 1】子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進

【重点 2】安心して学べる支援の充実

○ 子どもの学びを守る

【取組 1】いじめ防止の取組

【取組 2】不登校生徒への支援の充実

【取組 3】特別支援教育の充実

【施策の柱 2】学びの機会を保障し質を高める環境の確立

【重点 3】学びの質を高める環境の確立

○ 子どもの学びを支える

【取組 1】地域と学校の連携・協働の推進

【取組 2】学校経営の担い手育成

【取組 3】働き方改革の推進

【施策の柱 3】地域と歩む持続可能な教育の実現

学校教育目標等

1 学校教育目標

- ・敬愛～自分の良さや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重する『尊敬心および創造力』
- ・努力～豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる『積極性および探究力』
- ・実践～多様な人々と協働し、様々な社会的変化・課題を乗り越える『協調性および課題解決力』

2 スクール・ミッション

- (1) 地域との連携・協働等を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために 必要な資質・能力を身に付けた生徒の育成
- (2) 変化する社会に対応するため、幅広い知識と教養を身に付け、他者と協働 して課題解決を図ろうとする生徒の育成

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

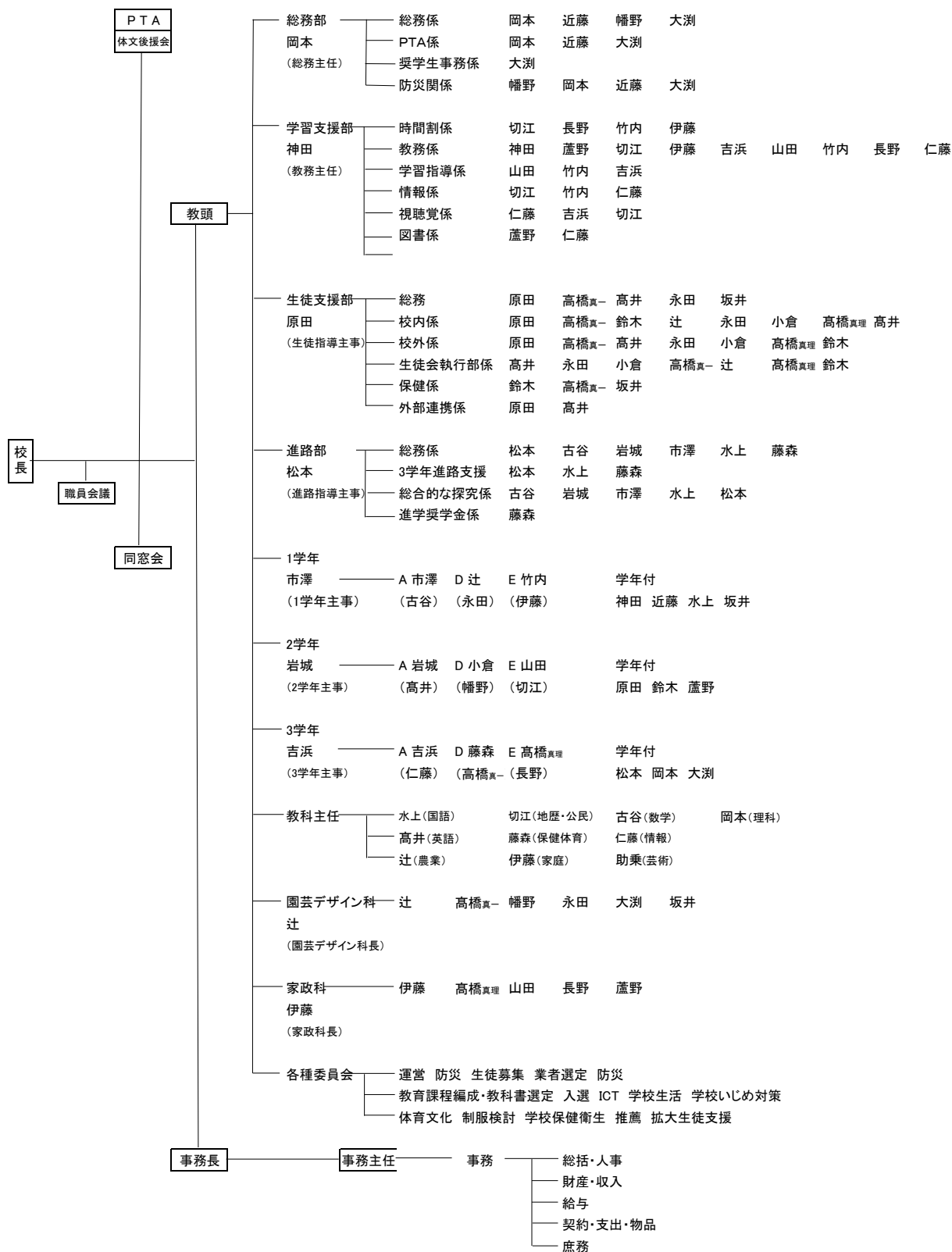
○育成を目指す資質・能力に関する方針
・多様な人々の立場を理解し、よりよい社会をつくる創造力のある人 ・新たな課題に挑戦し、乗り越えるために深い学びを継続できる人 ・コミュニケーション能力を身に付け、課題解決できる人間性豊かな人
○教育課程の編成及び実施に関する方針
・基礎・基本の定着を目指し、生徒の個性・可能性等に応じた学習活動を実施する。 ・生徒の主体的な活動を推進し、地域の人的・物的教育資源を積極的に活用する。 ・三学科の特色を活かした多様な科目設定等、教育課程の弾力的な編成に努める。
○入学者の受入れに関する方針
・本校のスクール・ミッションを理解し、主体的な学習活動を継続できる人 ・教育目標、育成すべき資質・能力を理解し、自己実現に挑戦する人 ・希望する学科に関する興味を持ち、多様な人々と協働して学ぶ意欲を持っている人

4 指導上の重点事項 【生徒が楽しく学ぶ当別高校】

重点目標	・資質・能力を確実に身に付ける教育の推進～子どもの学びを伸ばす～ ・安心して学べる支援の充実～子どもの学びを守る～ ・学びの質を高める環境の確立～子どもの学びを支える～	
	重点項目	評価の観点
学習指導	・教科等横断的に資質・能力を育成する校内体制を構築する。 ・主体的・対話的で深い学びを実現するため I C T を活用した授業を実践する。 ・評価の考え方や実施方法を十分に理解し、適切な観点別評価を実施する。	・校内研修での情報共有で見える化を行い、各教科の授業改善につなげることができたか。 ・対話型授業や ICT 活用について先生方から情報を収集し学校全体で共有できたか。 ・校内研修等で評価の考え方や実施方法を確認し適切な評価を実施できたか。
生徒指導	・生徒理解を深め、共感的な人間関係の構築を推進し、生徒の個性や可能性の伸長を図る。 ・いじめや暴力など問題行動の未然防止に努め、早期発見・早期対応を組織的に推進する。	・生徒理解を深め、共感的な人間関係の構築を推進し、生徒の個性や可能性の伸長を図ることができたか。 ・いじめや暴力など問題行動の未然防止に努め、早期発見・早期対応を組織的に推進することができたか。
進路指導	・自己の人生形成意識（キャリア意識）の喚起、醸成 ・自他の存在意義を尊重し、規範意識を備えた社会人育成に資するキャリア支援 ・学年・学科及び保護者、地域社会と連携したキャリア教育の推進	・分掌からの働きかけにより、生徒個々のキャリア意識が伸長されたと実感できたか。 ・総合的な探究活動等を通して、生徒個々が、互いの存在意義を尊重する姿勢と社会人としての規範意識とを高められたと実感できたか。 ・進路行事や総合的な探究活動において、教職員が連携し保護者や地域社会へ理解と協力を求めることができたか。
健康・安全指導	・心と身体の健康を保持し、自己管理能力を高めることができるよう支援する。 ・日常的な防災意識の涵養 ・環境美化に努める精神の育成	・心と身体の健康を保持し、自己管理能力を高めることができるように支援することができたか。 ・避難訓練や日常的な防災学習を通して、その重要性を生徒に理解させることができたか。 ・生徒の主体的な清掃活動等により、公共物保全と環境美化を大切にする心が育まれたか。

Ⅱ 学 校 組 織

1 校内分掌組織



2 校務分掌

◎は部長または代表・主任、クラス名の()は副担

職 名	氏 名	担 任	校 務 分 掌	担 当 教 科	部 ・ 局 ・ 同 好 会 顧 問	本校発令年月日
校 長	保 格 秀 規					R5. 4. 1
教 頭	松 本 賢					R7. 4. 1
教 諭	市 澤 亮 嗣	◎1A	進 路 支 援	保 健 体 育	陸 上 競 技	R3. 4. 1
〃	原 田 宏 明	(2付)	◎ 生徒支援	地 歴 公 民	体 育 部	R7. 4. 1
〃	高 橋 真 一	(3D)	生 徒 支 援	農 業	吹 奏 楽	R4. 4. 1
〃	岡 本 信 幸	(3付)	◎ 総 務 部	◎ 理 科	写 真	R7. 4. 1
〃	神 田 忠 治	(1付)	◎ 学 習 支 援	数 学	男 女 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	R3. 4. 1
〃	高 井 景 子	(2A)	生 徒 支 援	◎ 英 語	男 女 テ ニ ス	R4. 4. 1
〃	幡 野 洋	(2D)	総 務 部	農 業	農 業 ク ラ ブ ・ 漫 画 研 究	H30. 4. 1
〃	伊 藤 恵里香	(1E)	学 習 支 援	◎ 家 庭	家 庭 ク ラ ブ ・ ボ ラ ン テ ィ ア	H29. 4. 1
〃	松 本 陽 子	(3付)	◎ 進 路 支 援	国 語	放 送	R4. 4. 1
〃	辻 孝 洋	1D	生 徒 支 援	◎ 農 業	体 育 部	R5. 4. 1
〃	山 田 真 代	2E	学 習 支 援	家 庭	ボ ラ ン テ ィ ア ・ 家 庭 ク ラ ブ	R7. 4. 1
〃	高 橋 真 理	3E	生 徒 支 援	家 庭	美 術	R3. 4. 1
〃	吉 浜 康 次	◎3A	学 習 支 援	英 語	写 真	R3. 4. 1
〃	古 谷 知 之	(1A)	進 路 支 援	◎ 数 学	男 女 テ ニ ス	R4. 4. 1
〃	竹 内 聖 美	1E	学 習 支 援	理 科	文 化 部	R7. 4. 1
〃	水 上 麻衣子	(1付)	進 路 支 援	◎ 国 語	図 書	R7. 4. 1
〃	永 田 圭 奈	(1D)	生 徒 支 援	農 業	農 業 ク ラ ブ	R8. 4. 1
〃	長 野 早 希	(3E)	学 習 支 援	家 庭	家 庭 ク ラ ブ	R8. 4. 1
〃	岩 城 京 佑	◎2A	進 路 支 援	数 学	男 女 バ ド ミ ン ト ン	R7. 4. 1
〃	藤 森 敬 貴	3D	進 路 支 援	◎ 保 健 体 育	陸 上	R5. 4. 1
〃	切 江 智 大	(2E)	学 習 支 援	◎ 地 歴 公 民	吹 奏 楽	R5. 4. 1
〃	小 倉 愛 花	2D	生 徒 支 援	国 語	男 女 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	R6. 4. 1
〃（再任用）	近 藤 弘 之	(1付)	総 務 部	英 語	男 女 バ ド ミ ン ト ン	R7. 4. 1
〃（再任用）	仁 藤 隆	(3A)	学 習 支 援	◎ 情 報	情 報 処 理	R8. 4. 1
養 護 教 諭	鈴 木 淳 子	(2付)	生 徒 支 援			H29. 4. 1
指導実習助手	大 淵 雅 子	(3付)	総 務 部	農 業		R5. 4. 1
実習担任教諭	坂 井 優	(1付)	生 徒 支 援	農 業		R5. 4. 1
指導実習助手	蘆 野 真 弓	(2付)	学 習 支 援	理 科 ・ 家 庭	図 書	R8. 4. 1
事 務 長	鈴 木 武					R8. 4. 1
主 任 主 事	高 橋 和 希					R6. 4. 1
主 事（非）	三 浦 敦 子					R5. 4. 1
環 境 整 備 員 （ 非 ）	中 田 啓 二					R3. 4. 1
学 校 医	藏 満 保 宏					R5. 5. 1
学校歯科医	三 浦 宏 子					R3. 4. 1
学校薬剤師	田 西 幸 恵					H28. 4. 1

3 火気取締・管理責任者

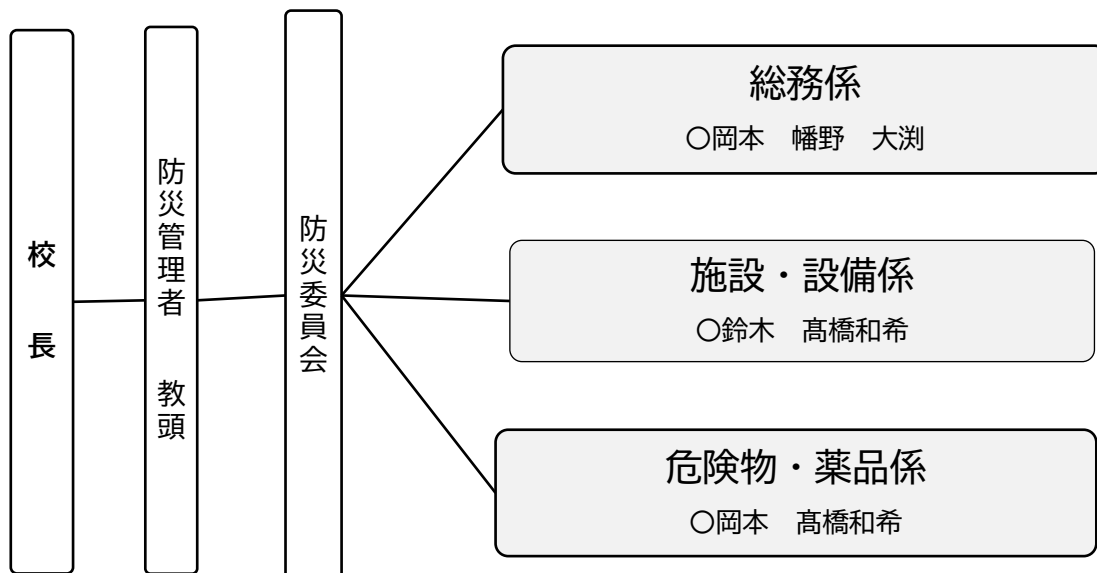
北海道当別高等学校

1 階			2 階			3 階			4 階			体育館・格技場			農 場 等		
番号	名称	責任者	番号	名称	責任者	番号	名称	責任者	番号	名称	責任者	番号	名称	責任者	番号	名称	責任者
101	校長室	事務長	201	職員室	教 頭	301	司書室	水 上	401	音楽教室	切 江	501	体育館	市 澤	601	宿泊実習室	幡 野
102	事務室	事務長	202	印刷室	教 頭	302	図書室	水 上	402	音楽練習室	切 江	502	器具室A	市 澤	602	収納調整室	坂 井
103	宿直・休養室	事務長	203	応接・休養室	教 頭	303	視聴覚室	永 田	403	音楽準備室	切 江	503	体育教官室	市 澤	603	農機具室	高橋(一)
104	書庫	高橋(和)	204	生物教室	竹 内	304	視聴覚準備室	永 田	404	教材室C	切 江	504	女子更衣室	藤 森	604	便所	幡 野
105	1 E教室	竹 内	205	生物化学準備室	岡 本	305	第二情報処理室	仁 藤	405	美術準備室	高橋(理)	505	格技場・渡り廊下	藤 森	605	温室	幡 野
106	保健室	鈴木(淳)	206	化学教室	岡 本	306	社会科学準備室	切 江	406	美術教室	高橋(理)	506	男子更衣室	藤 森	606	物置	高橋(一)
107	機械室	高橋(和)	207	土肥料教室	幡 野	307	応用微生物室	幡 野	407	書道教室	高橋(和)						
108	物置A	高橋(和)	208	土肥料準備室	幡 野	308	家庭経営準備室	山 田	408	書道準備室	高橋(和)						
109	試食室	伊 藤	209	農業クラブ室	幡 野	309	家庭経営室	山 田	409	第一情報処理室	仁 藤						
110	第一調理室	伊 藤	210	3 A教室	吉 浜	310	第二生徒会室	高 井	410	被服準備室	長 野						
111	調理準備室	伊 藤	211	多目的室③	吉 浜	311	自習室②	高 井	411	被服室	長 野						
112	第二調理室	辻	212	3 D教室	藤 森	312	2 A教室	岩 城	412	自習室①	神 田						
113	教育相談室	鈴木(淳)	213	3 E教室	高橋(理)	313	2 D教室	小 倉	413	1 A教室	市 澤						
114	作法室	鈴木(淳)	214	進路指導室	松 本	314	2 E教室	山 田	414	1 D教室	辻						
115	公務補室	事務長	215	自習室③	松 本	315	多目的教室②	高 井	415	(旧) 1 E	市 澤						
116	作業室	事務長	216	放送室	松 本	316	保育室	長 野	416	多目的教室①	近 藤						
117	売店	事務長	217	教材室	岡 本	317	教材室A	高橋(和)	417	家庭クラブ室	長 野						
118	物置B	高橋(和)	218	男子職員便所	岡 本	318	教材室B	幡 野	418	教材室A	高橋(和)						
119	男子職員便所	事務長	219	女子職員便所	松 本	319	男子生徒便所	岩 城	419	教材室B	幡 野						
120	女子職員便所	鈴木(淳)	220	男子生徒便所	高橋(一)	320	女子生徒便所	小 倉	420	男子生徒便所	市 澤						
121	男子生徒便所	近 藤	221	女子生徒便所	高橋(理)	321	生徒会室	高 井	421	女子生徒便所	永 田						
122	女子生徒便所	鈴木(淳)	222	暗室	岡 本	322	生徒会物品庫	高 井	422	探究ルーム	古 谷						
123	生徒玄関	高橋(和)															
124	玄関ホール	高橋(和)															
125	トイレ・シャワ-室	事務長															

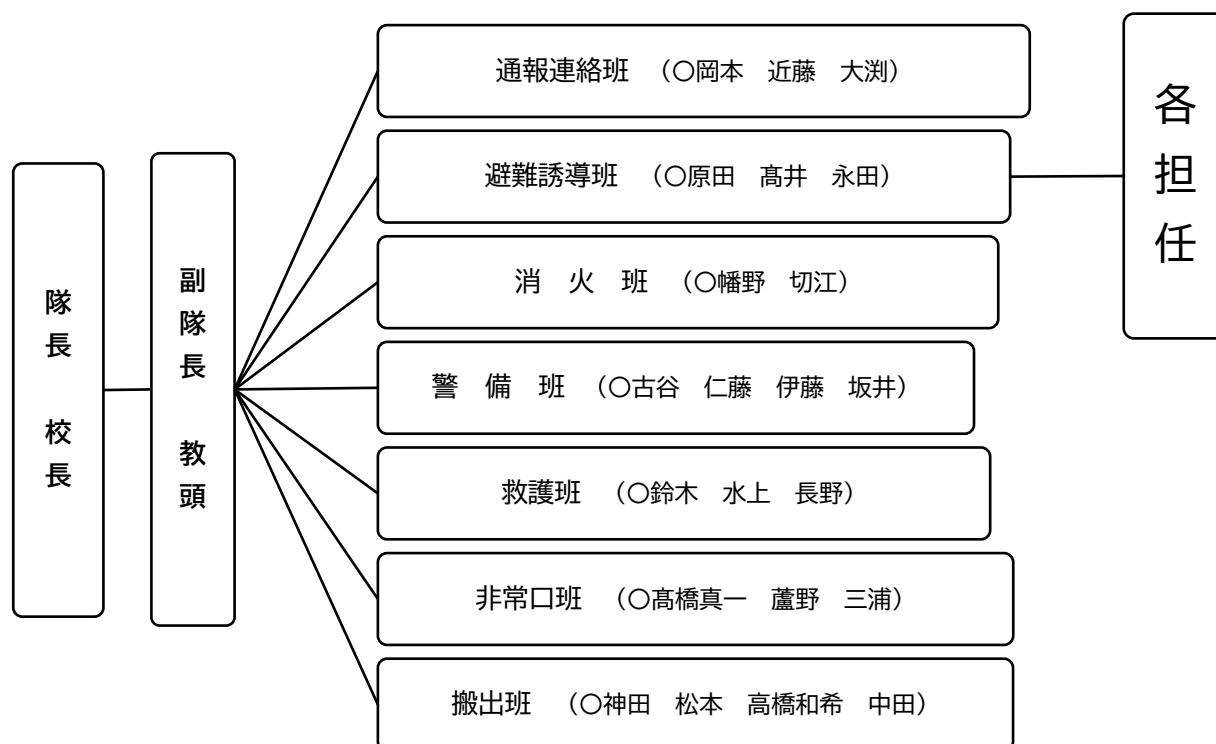
*消火機器については担当管理者の管理となります (廊下部分を含む)

4 当別高等学校 防災隊組織

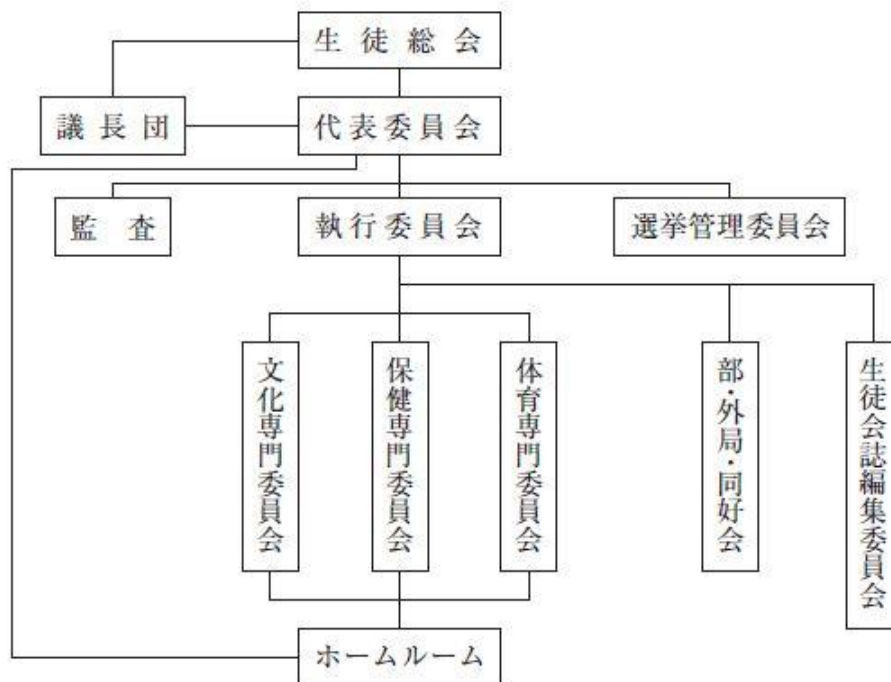
(1) 予防査察組織



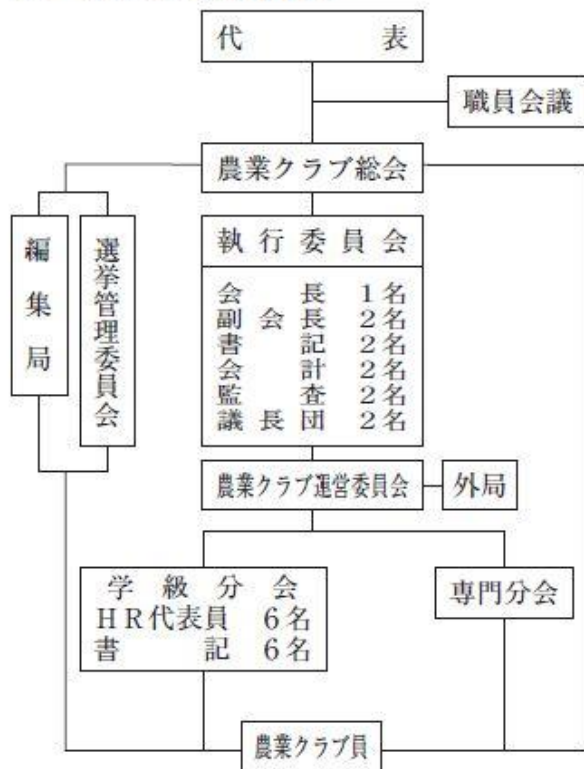
(2) 自営防災組織



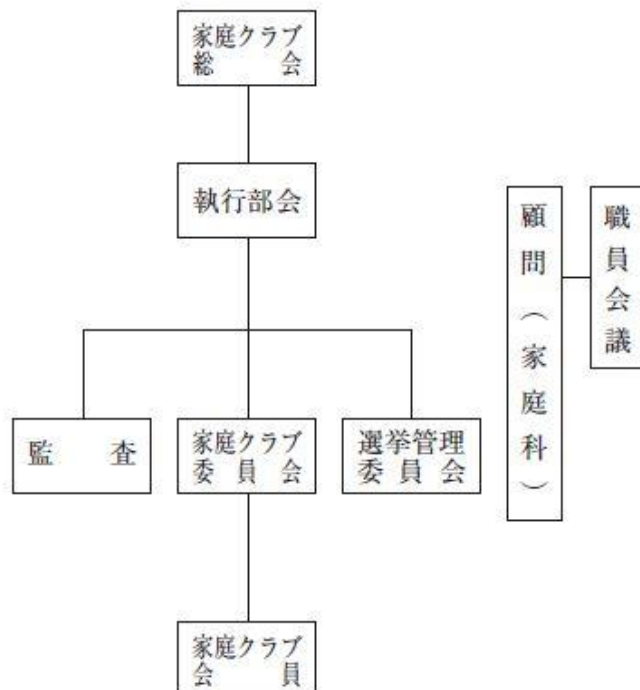
5 生徒会組織



6 農業クラブ組織



7 家庭クラブ組織



8 P T A ・ 体育文化後援会

(1) 三 役

会 長 石 川 真 里

副会長 見 上 真理麻 長 沼 彩 香 保 格 秀 規

監 事 坂 本 こずえ 山 本 泉

(2) 事 務 局

局 長 松 本 賢

次 長 岡 本 信 幸

会 計 鈴 木 武

庶 務 近 藤 弘 之

(3) 校内理事

専 門 部			学 年 P T A			
岡 本 信 幸 松 本 陽 子	神 田 忠 治	原 田 宏 明	吉 岩 辻	浜 城 孝	康 京 孝	次 佑 洋

9 同 窓 会

顧 問 野 口 和 之

会 長 武 岡 和 広

副 会 長 佐 藤 彰 田 中 信 幸

幹 事 長 松 岡 良 尚

副幹事長 館 田 政 幸 黒 澤 千鶴子

監 査 金 田 憲 一 中 田 耕 市 松 浦 悟 志

事 務 局 岡 本 信 幸 蘆 野 真 弓

Ⅲ 生徒の概況

1 在籍生徒数

(5月15日現在)

		1年				2年				3年				全体
		A	D	E	計	A	D	E	計	A	D	E	計	
在籍	男	9	14	6	29	7	8	8	23	20	7	8	35	87
	女	7	8	14	29	5	4	21	30	10	3	13	26	85
計		16	22	20	58	12	12	29	53	30	10	21	61	172

2 通学地域別生徒数

			科	普通科						園芸デザイン科						家政科						全体		
			学年	1年		2年		3年		1年		2年		3年		1年		2年		3年				
地域			性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
当別町	市街			1	2	1	2	4	3	4	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	10	13	23
	西当別			0	1	3	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	4	6	10
新篠津村				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
石狩市				3	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	1	1	1	4	1	1	9	9	18
札幌市				5	4	3	2	15	5	8	6	8	2	6	2	5	12	7	15	7	8	64	56	120
計				9	7	7	5	20	10	14	8	8	4	7	3	6	14	8	21	8	13	87	85	172
				16		12		30		22		12		10		20		29		21				

3 出身中学校別生徒数

市町村		学科	普通科		園デ科		家政科		全体		
		中学校 性別	男	女	男	女	男	女	男	女	計
札幌市	中央区	中央	0	0	0	1	0	0	0	1	1
	北区	新琴似	4	0	1	0	0	1	5	1	6
		新琴似北	3	0	1	0	2	3	6	3	9
		篠路	4	7	2	1	4	2	10	10	20
		篠路西	5	1	0	1	1	4	6	6	12
		上篠路	0	0	2	0	0	1	2	1	3
		太平	6	0	2	0	1	1	9	1	10
		北辰	0	0	1	0	0	0	1	0	1
		北陽	0	0	0	0	0	2	0	2	2
		新川	1	0	1	1	0	2	2	3	5
		新川西	0	0	1	0	0	0	1	0	1
		あいの里東	3	1	3	0	3	3	9	4	13
		屯田北	1	1	0	0	0	0	1	1	2
		屯田中央	1	0	0	0	0	0	1	0	1
	東区	栄	3	1	3	1	2	3	8	5	13
		栄町	0	0	0	0	0	2	0	2	2
		元町	0	0	1	1	3	0	4	1	5
		札苗	0	0	0	0	1	0	1	0	1
		札苗北	0	0	0	0	0	2	0	2	2
		美香保	0	0	1	0	0	0	1	0	1
		福移学園	1	0	0	0	0	1	1	1	2
	白石区	北白石	0	0	0	0	0	1	0	1	1
		幌東	0	0	1	0	0	0	1	0	1
	豊平区	八条	0	0	0	0	0	1	0	1	1
		西岡北	0	0	0	0	1	0	1	0	1
	西区	八軒東	0	0	0	0	1	0	1	0	1
		宮の丘	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	手稲区	星置	0	1	0	0	0	0	0	1	1
当別町		とうべつ学園	7	7	2	2	0	4	9	13	22
		西当別	3	2	2	1	0	4	5	7	12
石狩市		花川北	0	1	0	1	0	0	0	2	2
		花川南	2	0	0	1	1	0	3	1	4
		花川	1	0	0	0	1	4	2	4	6
		樽川	1	0	0	0	0	2	1	2	3
新篠津村		新篠津	0	0	0	0	0	2	0	2	2
枝幸町		歌登	0	0	0	0	1	0	1	0	1
		計	46	22	24	11	22	46	92	79	171

4 通学形態別生徒数(夏季形態)

		普通科						園芸デザイン科						家政科								
		1年		2年		3年		1年		2年		3年		1年		2年		3年				
形態	性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計		
徒歩のみ		1	2	0	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	3	10	13		
自転車		2	1	1	1	6	1	7	2	3	0	2	0	0	3	5	7	1	3	27	18	45
公共交通機関	地下鉄	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4	5
	バ ス	3	0	0	1	3	0	2	2	0	1	1	1	1	3	0	3	0	1	10	12	22
	J R	7	5	6	2	16	7	10	6	8	3	7	3	6	13	8	19	8	10	76	68	144
その他		1	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4	5	9
計		14	8	8	6	28	12	19	13	11	5	10	4	7	19	13	32	11	18	121	117	238
		22		14		40		32		16		14		26		45		29				

5 バス通学生徒数

当別町内利用者		普通科						園芸デザイン科						家政科									
		1年		2年		3年		1年		2年		3年		1年		2年		3年					
路線		性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
当別町	太美～当別	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	3
	みどり野～当別	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計		0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	4
		0		3		0		0		0		0		0		1		0					

札幌市・石狩市内利用者

	1年	2年	3年	計
男	4	2	6	12
女	5	5	2	12
計	9	7	8	24

6 列車通学駅別生徒数

		普通科						園芸デザイン科						家政科										
		1年		2年		3年		1年		2年		3年		1年		2年		3年						
	駅名	性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
学園都市線	太美			1	3			1	1				1							1	5	3	8	
	あいの里公園															1	2	1		1	2	3	5	
	あいの里教育大						2		3		1		1	1			1	1		8	2	10		
	拓北			1			3	3	1						1	1	2	3	1	2	8	10	18	
	篠路		1	1			1	2	3				3		1		1	1		2	8	8	16	
	百合が原		2	1	1			2				1	1				1	2	1	1	10	5	15	
	太平		2	1	2				1	1	2					2	1	2			8	6	14	
	新琴似		2					6		2	2	2	1		1	1	3		5	3	1	16	13	29
	新川						1			1	2			1	1	1	5		3			5	10	15
函館本線	八軒														1	1		1	1		2	2	4	
	札幌								1	1	1						1		1	2	3	4	7	
	稲積公園								1												0	1	1	
	手稲														1						1	0	1	
	ほしみ					1															0	1	1	
	計		7	5	6	2	16	7	10	6	8	3	7	3	6	13	8	19	8	10	76	68	144	
			12		8		23		16		11		10		19		27		18					

7 通学時間別生徒数

学科		普通科						園芸デザイン科						家政科						全体		
学年		1年		2年		3年		1年		2年		3年		1年		2年		3年				
所要時間	性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
～30分		1	4	2	3	4	4	4	2	1	0	1	0	1	1	5	7	0	4	19	25	44
31分～60分		4	3	5	1	12	6	8	1	5	1	5	1	3	10	1	14	4	5	47	42	89
61分～90分		4	0	0	1	4	0	1	5	2	2	1	2	2	3	2	0	3	3	19	16	35
91分～		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	3
計		9	7	7	5	20	10	14	8	8	3	7	3	6	14	8	21	8	13	87	84	171
		16		12		30		22		11		10		20		29		21				

8 通学費用別生徒数(公共交通機関利用者のみ)

学科	普通科						園芸デザイン科						家政科						全体		
学年	1年		2年		3年		1年		2年		3年		1年		2年		3年				
金額 性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
～5,000円	0	0	2	0	0	2	4	2	1	0	2	0	1	0	0	2	0	0	10	6	16
5,001円～10,000円	0	2	2	1	6	3	4	0	1	0	3	2	3	1	3	6	3	6	25	21	46
10,001円～15,000円	7	3	3	2	6	2	4	3	5	3	2	1	2	8	3	12	4	2	36	36	72
15,001円～	0	0	0	0	4	0	2	3	1	0	0	0	0	4	1	0	1	2	9	9	18
計	7	5	7	3	16	7	14	8	8	3	7	3	6	13	7	20	8	10	80	72	152
	12		10		23		22		11		10		19		27		18				

9 卒業生概要(令和8年3月 31 日現在)

区 分	全日制課程		
	男	女	計
令和6年度まで	4,254	5,539	9,793
令和7年度卒業生	24	16	40
小 計	4,278	5,555	9,833

区 分	定時制課程		
	男	女	計
平成20年度まで	1,222	453	1,675
小 計	1,222	453	1,675

※定時制課程は平成20年度をもって閉課

合 計	5,500	6,008	11,508
-----	-------	-------	--------

9 卒業後の進路状況（令和7年度卒業生）

（1）進路別人数

			四年制	短期	専修	小計	就職	家事	未定	小計	合計
			大学	大学	学校				その他		
普通科	男		1	0	3	4	10	0	1	11	15
	女		2	0	2	4	0	0	0	0	4
園デ科	男		1	0	1	2	3	0	0	3	5
	女		0	0	1	1	1	0	0	1	2
家政科	男		0	0	2	2	2	0	0	2	4
	女		0	3	1	4	5	0	1	6	10
合計			4	3	10	17	21	0	2	23	40

（2）就職地域別人数（就職進学を含む）

			当別	札幌	道内	道外	計
普通科	男		2	7	1	0	10
	女		0	0	0	0	0
園デ科	男		0	3	0	0	3
	女		0	0	1	0	1
家政科	男		1	1	0	0	2
	女		0	4	1	0	5
合計			3	15	3	0	21

（3）職種別就職者（就職進学を含む）

	管理	専門技術	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	生産工程	輸送・運転	建設・採掘	運搬・清掃	左記以外	計
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
普通科	0	1	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	10
園デ科	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	4
家政科	0	0	0	2	3	0	0	2	0	0	0	0	7
合計	0	1	0	4	5	0	0	6	0	1	2	2	21

(4) 主な進学先 (令和7年度卒業生)

○四年制大学

北海道情報大学 医療情報学部医療情報学科医療情報専攻
藤女子大学 ウェルビーイング学部地域創生学科
酪農学園大学 循環農学類
ZEN大学 知能情報社会学部知能情報社会科

○短期大学

光塩学園女子短期大学 食物栄養科
札幌大谷大学短期大学部 保育科
北翔大学短期大学部 こども学科 保育コース

○専門学校等

札幌こども専門学校(2) 札幌情報ITクリエイター専門学校 札幌医療秘書福祉専門学校
札幌ビューティーアート専門学校 札幌スイーツ&カフェ専門学校 札幌どうぶつ専門学校
北海道エコ・動物自然専門学校 専門学校北海道自動車整備大学校 北海道立漁業研修所

(5) 主な就職先 (令和7年度卒業生)

○接客・販売・調理・サービス

(株)ヤマダデンキ (株)ラルズ (株)ロピア (株)はなまる (株)ケイシイシイ (株)田西会館
(株)札幌かに本家 (株)フレッシュワン サザエ食品(株) 中島水産(株)

○製造・技術

(株)札幌パリ (株)シロ みんなの工場 北海道ホールフーズ(株) ネットトヨタ札幌(株)(2)
下段モータース(有)

○運輸・物流・清掃

(株)サカイ引越センター北海道推進課(2)

○建築・建設・造園

(株)北栄電設

○その他

自衛官候補生 自衛隊一般曹候補生

令和8年度(2026年度)年間行事予定表①

(◇ 分掌会議 ● 運営委員会 ■ 定例職員会議)

上記3会議は基本的に5分短縮日課です 黒マークの場合は5短なしです

上記3会議は基本的に5分短縮日課です 黒マークの場合は5短なしです

日	曜	4月	曜	5月	曜	6月	曜	7月	曜	8月	曜	9月
1	水	年度始休業(～7日)	金	開校記念日	月	学校祭細案説明・クラス 討議 高体連バド女子当番校	水		土		火	シェイクアウト
2	木	着任者打合9時 分掌11時 学年13時	土		火		木	園)校内技術競技大会 成績会議	日		水	SC来校 園1・2)ライフオート花壇 造成Ⅲ
3	金	年度始運営委員会10時	日	憲法記念日	水		金		月		木	
4	土		月	みどりの日	木	家3)特別実習	土		火		金	中学生体験入学
5	日		火	こどもの日	金		日		水		土	
6	月	年度始職員会議9時	水	振替休日	土		月	園)花フェスタ片付け	木	職員健康診断 園)全道技術競技大会	日	
7	火		木	全)進路利エーション	日		火		金	分掌会議9時	月	家2)特別実習 1)人権教室 (デートDV)
8	水	着任式・始業式・入学式 指定服登校:1)～5/8 2・3)～4/10	金	壮行会	月		水	SC来校 園全)ライフオート 花壇造成Ⅱ	土		火	園2)インターンシップ
9	木	対面式・部局紹介	土		火		木	学校祭終日準備	日		水	
10	金	1)個人写真撮影 2・3)身だしなみ講話	日		水	SC来校 普全)ユーマーズ 運営協力	金	学校祭1日目	月		木	【&中間反省】
11	土		月		木	園)南連実績発表大会	土	学校祭2日目 (一般公開)	火	山の日	金	学年会議【中間反省】
12	日		火	家)全道家庭クラブ連盟 研究協議会	金		日		水	閉庁日	土	
13	月	部活動勧誘週間 全校集会・前期HR 役員選出	水	SC来校	土		月	学校祭代替休日	木	閉庁日	日	
14	火	二計測・視力・聴力	木	園)苗販売会	日		火		金	閉庁日	月	2学期仮(前期末)評価 期間※原則部活動禁止
15	水	歯科検診	金	尿検査Ⅱ	月	1学期(前期中間)評価 期間※原則部活動禁止	水		土		火	【&中間反省】
16	木	1)個人写真撮影【再】 農ク入会式対面式	土		火		木	園)南連意見発表大会	日		水	
17	金	PTA体文三役会	日		水		金		月		木	中間反省会議5短
18	土		月	生徒総会	木		土	家)技術検定(食物)	火		金	全)交通安全教室
19	日		火		金		日		水	運営委員会9時 園)全道実績発表大会	土	
20	月	教育相談週間(5時間授 業) 内科検診Ⅰ	水		土		月	海の日	木		日	
21	火	尿検査Ⅰ レクサンド高校 交流事業	木	臨時職員会議【学校祭細 案】 園)南連リーダー研修会	日		火	3就)当別町企業説明会	金	定例職員会議9時	月	敬老の日
22	水	内科検診Ⅱ	金		月		水		土		火	国民の休日
23	木	園)米袋デザイン 講習会	土		火		木	終業式	日		水	秋分の日
24	金	授業参観・PTA総会 園)クラス意見発表 家ク)総会入会式	日		水		金		月	始業式	木	
25	土		月		木	家ク)高齢者福祉施設訪 問 成績入力締切日	土	家)技術検定(保育)	火		金	ネバギバⅢ
26	日		火		金	3)就職ガイダンス ネバギバⅡ	日		水		土	
27	月	生徒総会議案審議	水		土	家)技術検定(食物・保 育) 園)花フェスタ(～7/5)	月		木	園)全道意見発表大会	日	
28	火	1)胸部X線・心電図検査 園2・3)ライフオート花壇造 成	木	尿検査Ⅲ 園)校内意見発表大会	日		火		金		月	生徒会役員選挙
29	水	昭和の日	金	ネバギバⅠ	月	ネットトラブル防止教室	水		土		火	家ク)全道研究発表大会
30	木	農ク)年度始め総会	土		火		木	家庭クラブ全国大会	日		水	成績入力締切日
31			日				金		月			
		13日:家庭科技術検定研究 協議会		学校環境衛生検査(水質) 1)GRPエンカウンター 1・2)hyper-QU 避難訓練1回目		1)性に関する講話 いじめアンケート調査Ⅰ PTA登校支援活動Ⅰ 家庭クラブ石狩支部大会 家)風街カフェコロポ		薬物乱用防止教室(非行防止) PTA登校支援活動Ⅱ 救命救急講習(職員) 園)農業教育研究会 園)中学生園テ科体験会 園)亜麻まつり		3)面接準備講話		3)四輪免許取得説明会 PTA登校支援活動Ⅲ 家)風街カフェコロポ 避難訓練2回目

授業日

16

17

22

16

6

19

令和8年度(2026年度)年間行事予定表②

(◇ 分掌会議 ● 運営委員会 ■ 定例職員会議)

上記3会議は基本的に5分短縮日課です 黒マークの場合は5短なしです

日	曜	10月	曜	11月	曜	12月	曜	1月	曜	2月	曜	3月
1	木	後期HR役員選出 家ク)高齢者福祉施設訪問	日		火		金	元日 閉庁日	月		月	卒業式
2	金		月	教育相談週間 (5時間授業)	水	SC来校	土	閉庁日	火		火	成績入力締切日
3	土		火	文化の日	木		日	閉庁日	水	成績入力締切日	水	入試(学力)
4	日		水	SC来校	金	成績入力締切日	月		木	【&年度末反省】	木	入試(面接・採点)
5	月		木	園)収穫感謝祭	土	園)農業技術検定	火		金		金	新年度用生徒個人写真撮影
6	火	家1)生活産業現場見学会 2)見学旅行	金		日		水	(高教研)	土		土	
7	水		土		月	家3)卒業制作発表会	木	(高教研)	日		日	
8	木		日		火		金		月	学年会議【年度末反省】	月	
9	金		月		水		土		火	推薦入試	火	進級認定会議
10	土	どうぶつmiraiフェス 園)農業高校収穫祭?	火		木	園)校内実績発表会 (案1) 成績会議	日		水		水	追検査
11	日		水		金		月	成人の日	木	建国記念の日	木	合否反省会議 5短3時間授業
12	月	スポーツの日	木	農ク)役員選挙 家ク)高齢者福祉施設訪問	土		火	分掌会議9時	金	推薦入試合否判定会議 卒業認定会議	金	
13	火		金		日		水		土		土	
14	水	SC来校 成績会議	土		月		木		日		日	
15	木		日		火		金	運営委員会9時	月	学年末(後期末)評価期間※原則部活動禁止 ●農ク)年度末顧問会議	月	
16	金		月	文化スポーツ大会選手選出	水		土		火	家)全道家庭クラブ 連盟研究協議会	火	合格発表
17	土		火		木	合格体験報告会	日		水	臨時職員会議5短 【入選・卒業式細案】	水	新年度用生徒個人写真撮影(予備日)
18	日	当別町スウェーデンマラソン	水		金	文化スポーツ大会	月	定例職員会議9時	木	年度末反省会議5短	木	
19	月		木	家ク)HP校内研究発表会	土	家)技術検定(保育)	火	始業式	金	ネバギバクエストⅢ	金	
20	火		金	農ク)秋季顧問会議	日		水		土		土	
21	水	農業クラブ全国大会	土	家)技術検定(食物)	月		木		日		日	春分の日
22	木	家ク)役員選挙	日		火		金		月		月	振替休日
23	金		月	勤労感謝の日	水		土		火	天皇誕生日	火	
24	土		火	2学期(後期中間)評価期間※原則部活動禁止	木	終業式	日		水		水	
25	日		水	家庭科技術検定研究協議会	金		月	3年生学年末評価期間	木		木	年度末休業(～31日)
26	月	生徒会役員認証式	木		土		火		金	卒業式予行・同窓会入会式・農クOB会入会式	金	
27	火		金	家ク)歳末助け合い募金 ネバギバV	日		水		土		土	
28	水		土	家)技術検定(保育)	月		木	園)全道指導者研究協議会	日		日	
29	木		日		火	閉庁日	金				月	
30	金	教育相談週間～11/6 (5時間授業) ネバギバⅣ	月		水	閉庁日	土				火	
31	土				木	閉庁日	日				水	
		いじめアンケート調査Ⅱ 家)高校生カフェ		1)心の健康講話 園)無印良品 高校生応援マルシェ 園)シクラメン販売会				学校環境衛生検査(照度) いじめアンケート調査Ⅲ		学校環境衛生検査(空気) 家)ミニ学食ランチ		家)合同授業 家)高校生カフェ

21

19

18

9

18

15

196

V 教 育 計 画

教 育 課 程

(1) 編 成 方 針

学習指導要領に基づき、学校教育目標ならびに学校課題の達成をめざし、次のねらいに基づいて教育課程を編成する。

- a 基礎・基本を重視し、生徒の適性・進路等に応じた教育課程の編成に努める。
- b 三学科の特色を生かした多様な科目の設定など、教育課程の弾力的な編成に努める。
- c 生徒の実態を踏まえ、社会や地域の変化に適切に対応した教育課程の編成に努める。
- d 自主的・主体的な特別活動を推進し、個性の伸長と豊かな人間性の育成を図る。

(2) 留 意 事 項

本校学校教育目標および高等学校学習指導要領に基づき地域や学校の実態及び生徒の能力、適性、進路等を充分に考え、かつ学科の特色を生かした教育ができるよう配慮して編成するものとする。

- a 単位時間について
1 単位時間を 50 分とし、35 単位時間の授業を 1 単位とする。
- b 週当り授業時間数
(1 学年) 各教科・科目、総合的な探究の時間及び特別活動を含め 29 単位時間とする。
(2・3 学年) 各教科・科目、総合的な探究の時間及び特別活動を含め 30 単位時間とする。
- c 単位の履修・修得
(1・2 学年) 必履修教科・科目について、すべて履修するものとする。
(3 学年) 学校が定める履修教科・科目について、すべて履修・修得するものとする。
- d 卒業までに修得させる単位数
(1・2 学年) 各教科・科目及び総合的な探究の時間を含めて 74 単位とする。
(3 学年) 各教科・科目及び総合的な探究の時間を含めて 87 単位とする。
- e 選択科目の設定 (普通科)
1・2 年次は基礎的科目を共通必修とし、3 年次は共通科目の他に、生徒の実態や進路志望 (進学・就職) に応じた選択科目を設定する。
- f コース制 (家政科)
各学科の目標に沿って、一般教科と専門教科をバランスよく修得することを目指している。
1 学年は基礎的科目を共通必修とし、2・3 学年は、専門性を重視した保育と食物調理の 2 コース制とする。
- g 「総合的な探究の時間」について
1 学年は、当別町をはじめとした地域の事柄や社会に興味・関心を持ち、自己との関りから問いを見つけ、自分たちにできることを見出すことを目標とした学習活動を実施する。
2 学年は、地域や社会との関わりから、当別町や地域について課題を設定することができ、情報を集め、整理・分析してまとめるとともに、課題解決に必要な知識及び技能を実践的活動を通して身に付けることを目標とした学習活動を実施する。
3 学年は、職業や上級学校について、その種類や仕組みについて学ぶこと、また地域の課題解決に向け実際に調査・研究を行うことを主たる学習活動として実施する。

(3) 教育課程表

○令和8年度 学年別教育課程表

教科	科目	標準 単位	普通科					園芸デザイン科			家政科				
			1年	2年	3年			1年	2年	3年	1年	2年		3年	
			共通	共通	共通	進学	就職	共通	共通	共通	共通	保育	食物調理	保育	食物調理
国語	現代の国語	2	2					2	2		2	2	2		
	言語文化	2	2						2		2	2	2		
	文学国語	4		4						4				4	4
	国語表現	4			4										
	○国語探究	3				3									
地理歴史	地理総合	2	2					2			2				
	歴史総合	2		3						3				3	3
	世界史探究	3			3										
公民	公共	2		2					2			2	2		
	政治・経済	2			3										
数学	数学Ⅰ	3	4					2	2		2	2	2		
	数学Ⅱ	4		4											
	数学A	2				4	4			3				2	2
	数学B	2				3									
理科	科学と人間生活	2	2					2			2				
	物理基礎	2				3									
	化学基礎	2		3					2			3	3		
	生物基礎	2			3					3				3	3
	地学基礎	2		2											
保健体育	体育	7～8	3	2	2			3	2	2	3	2	2	2	2
	保健	2	1	1				1	1		1	1	1		
芸術	音楽Ⅰ	2						2			2				
	○音楽表現	3					3								
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3					3	3		3				
	英語コミュニケーションⅡ	4		4		3	3					3	3	2	2
	論理・表現Ⅰ	2				3				2					
家庭	家庭基礎	2	2					2			3				
	家庭総合	4										2	2		
情報	情報Ⅰ	2	2								2				
農業	農業と環境	2～6						4							
	課題研究	2～6					3		2	3					
	総合実習	2～8						3							
	農業と情報	2～6							2						
	作物	2～8							2	2					
	野菜	2～8							2	2					
	草花	2～8							2	2					
	食品製造	2～8							2	2					
商業	簿記	2～4					3								
	情報処理	2～4		3											
家庭	生活産業基礎	2～4									2				
	課題研究	2～4										2	2	2	2
	保育基礎	2～6										5			
	保育実践	2～8												8	
	生活と福祉	2～6										2		2	
	フードデザイン	2～8											2		
	服飾手芸	2～4					3								
	食文化	1～2													2
	調理	4～14											5		5
	総合調理実習	3													3
○産社	○産業社会と人間	2～4	2												
○総合	○ベーシックスタディ	3	1					1			1				
	小計		26	28	15	13	13	27	28	28	27	28	28	28	28
	総合的な探究の時間		2	1		1		1	1	1	1	1		1	
	合計		28	29		29		28	29	29	28	29		29	
特別活動	ホームルーム		1	1		1		1	1	1	1	1		1	

○令和8年度入学者 教育課程表

教科	科目	標準 単位	普通科					園芸デザイン科			家政科						
			1年	2年	3 年			1年	2年	3年	1年	2年			3年		
			共通	共通	共通	進学	就職	共通	共通	共通	共通	共通	保育	食物 調理	共通	保育	食物 調理
国語	現代の国語	2	2	2				2			2	1					
	言語文化	2	2	2					2		2	1					
	文学国語	4			4					4					4		
	○国語探究	3					3										
地理歴史	地理総合	2	2					2			2						
	歴史総合	2		3						2		2					
	世界史探究	3			3												
公民	公共	2		2					2			2					
	政治・経済	2			2												
数学	数学Ⅰ	3	4					2	2		2	2					
	数学Ⅱ	4		4													
	数学A	2			2					2					2		
	数学B	2				3											
理科	科学と人間生活	2	2					2			2						
	化学基礎	2		2					2			2					
	生物基礎	2			3					2					2		
保健体育	体育	7～8	3	2	2			3	2	2	3	2			2		
	保健	2	1	1				1	1		1	1					
芸術	音楽Ⅰ	2		2				2			2						
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3					3	2		3						
	英語コミュニケーションⅡ	4		3	3							2			2		
	論理・表現Ⅰ	2				3											
家庭	家庭基礎	2	2					2			3						
情報	情報Ⅰ	2	2						2		2						
農業	農業と環境	2～6						4									
	課題研究	2～6							3	3							
	総合実習	2～8						3									
	作物	2～8							2								
	野菜	2～8								2							
	食品製造	2～8							4	4							
	食品流通	2～6								2							
	生物活用	2～6							2	2							
商業	簿記	2～4					3										
	情報処理	2～4			3												
家庭	生活産業基礎	2～4									2						
	課題研究	2～4										3	3		3	3	
	保育基礎	2～6										5					
	保育実践	2～8													8		
	生活と福祉	2～6										3			3		
	フードデザイン	2～8											3				
	食文化	1～2															1
	調理	4～14												5			8
	食品	2～4															2
○産社	産業社会と人間	2～4	2	2													
○総合	ベーシックスタディ	3	1	1	1			1	1	1	1	1			1		
小計			26	26	23	3	3	27	27	26	27	16	11	11	13	14	14
総合的な探究の時間			2	2	2			1	1	2	1	1			1		
合計			28	28	28			28	28	28	28	28			28		
特別活動	ホームルーム		1	1	1			1	1	1	1	1			1		

令和8年度 総務部年度方針

1 方針

1. 全職員の共通理解と協働体制のもと、本校の教育活動、学校運営を円滑に遂行する

2 重点目標

1. 各組織間の綿密な連絡調整と業務の効率化、円滑化の推進
2. 日常的な防災意識の涵養
3. 環境美化に努める精神の育成

3 月別業務計画

月	総 務
4	年度方針作成、年間行事計画の確定・配布、 職員名簿・管理責任者・清掃分担完成、着任者ロッカー等準備および打合せ資料作成、 共有スペースの整備（キーボックスも含む） 着任式・始業式・入学式、PTA 新三役会議、 PTA 総会、合同役員会
5	学校案内・ポスター完成 避難訓練1回目
6	体験入学準備開始、PTA 全道大会
7	大掃除、終業式、PTA だより第112号発行
8	始業式、PTA 全国大会
9	シェイクアウト 避難訓練2回目 1日体験入学
10	
11	北地区6校PTA 合同研修交流会 学校評価、次年度年間行事予定作成開始
12	大掃除、終業式、卒業証書作成開始
1	始業式
2	卒業式予行、表彰式、同窓会入会式、「当高生活のしおり」編集開始
3	卒業式、PTA だより第113号発行、大掃除、新学年教室移動指示、 修了式、離任式、管理責任者一覧・各種名札作成、新年度職員室配置図作成開始
通年	年間行事予定の集約・調整、運営委員会・職員会議関係庶務、各会議録作成、学校日誌記載、 校務内規整備・保管、特別教室等の鍵管理、職員室の整備

4 係分担

主任：岡本 副主任：近藤

〈分 掌 総 務〉

1. 年間月間行事予定の集約調整（岡本）
2. 着任式・始業式・入学式・全校集会・終業式・卒業式・修了式・離任式等の運営（全員）
3. 「中学生一日体験入学」の企画調整（岡本・近藤）
4. 学校案内印刷物（チラシ・ポスター・パンフレット）作成（岡本・大淵）
5. 外部機関関連の諸統計の処理、管理（近藤）
6. 着任者打合せ資料作成、着任者座席札作成（全員）
7. 学校運営協議会等の出席（岡本・近藤）

〈 P T A 関 係 〉

1. PTA・同窓会等、関係機関との渉外（岡本）
2. PTA 三役会議・総会・合同役員会の運営（岡本・近藤）
3. PTA 会員名簿の作成、管理（岡本）
4. PTA だよりの編集、発行（岡本・大淵）
5. 北地区6校PTA 合同研修交流会に関する業務（岡本・近藤）

〈奨学生事務関係〉

1. 在学中の各種奨学金に関する担任、生徒、保護者への連絡、手続等事務（大淵）

〈管理関係〉

1. 職員室の座席配置図作成（岡本）
2. 職員室内整備（全員）
3. 職員ロッカー・靴箱等名札作成（幡野）
4. 特別教室等の鍵管理、鍵使用者名札の作成（幡野）
5. 物品購入、会計処理（近藤）

〈防災関係〉

1. 火気取締・管理責任者一覧、名札作成（幡野）
2. 清掃分担区の割当（幡野）
3. 清掃用具の整備・交換計画、指示（近藤）
4. 防災避難訓練企画立案（岡本、幡野、大淵）
5. 地域との防災連携（岡本、幡野）

〈文書関係〉

1. 学校日誌記載（岡本）
2. 職員会議録作成（主任以外全員）
3. 「学校要覧・教育計画」の作成（全員）
4. 職員名簿（岡本）
5. 関係文書、公文書等の授受・整理・保管（岡本）

5 重点目標に対する評価の観点

1. 担当業務がそれぞれ明確に把握され、組織的な連携を以て各行事を行えたか。
2. 避難訓練や日常的な防災学習を通して、その重要性を生徒に理解させることができたか。
職員の防災意識、安全意識を向上させることが出来たか。
3. 生徒の主体的な清掃活動等により、公共物保全と環境美化を大切にする心が育まれたか。
職員室の整備等で職員の作業・生活環境の向上が見られたか。

令和8年度 学習支援部年度方針

1. 方針

- 1 資質・能力を確実に身に付ける教育活動の推進に努める。
- 2 新しい時代に必要となる資質・能力の育成を目指す。
- 3 認め合い・励まし合い・支え合う社会的資質・能力の育成を目指す。

2. 重点目標

- 1 教科等横断的に資質・能力を育成する校内体制を構築する。
- 2 主体的・対話的で深い学びを実現するためICTを活用した授業を実践する。
- 3 評価の考え方や実施方法を十分に理解し、適切な観点別評価の実施する。

3. 年間計画

月	内 容
4	年度方針作成、新入生・保護者オリエンテーション、時間割作成、基礎力診断テスト（4月9日） シラバスの集約と作成、指導要録整備、校務支援システム年度初設定、情報機器の点検・整備 校内LAN等の設定、新入生Googleアカウント登録、学校HP管理、総探開始、学校要覧（教育計画）
5	教科選択ガイダンス、高体連特別時間割作成、HP管理、図書希望調査1回目
6	教科選択決定、教科書選定、指導要録説明、教科担任懇談会、1学期（前期中間）評価、HP管理
7	成績集計、成績会議、学習指導保護者懇談会、研修会、情報機器メンテナンス・点検、HP管理
8	情報機器メンテナンス・点検、HP管理
9	中間反省、2学期中間（前期期末）評価、HP管理、図書希望調査2回目
10	見学旅行特別時間割作成、成績集計、教科担任懇談会、HP管理
11	2学期末（後期中間）評価、HP管理
12	成績集計、成績会議、学習指導保護者懇談会、研修会、HP管理、図書希望調査3回目
1	3年学年末評価、入選業務、情報機器メンテナンス・点検、HP管理
2	成績集計、卒業認定会議、時数補充、年度末反省、入選業務、1・2学年末（後期期末）評価、HP管理
3	成績集計、進級認定会議、時数補充、追認考査、入学者選抜業務、指導要録完成提出（諸帳簿提出） 情報機器の確認・点検、校内LAN整備・点検、HP管理、蔵書点検

4. 分掌業務

<総務係> ◎神田

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 分掌業務の総括・連絡調整 | 神田・山田 |
| 2 年間計画の作成 | 神田 |
| 3 教育課程編成委員会 | 神田・山田・伊藤・切江・仁藤 |
| 4 教務規程の運用 | 神田・山田 |
| 5 生徒在籍・異動の取りまとめ | 神田・山田 |
| 6 教科・学年・分掌との連絡調整 | 神田・伊藤・長野 |
| 7 教育実習 | 神田・山田・伊藤・切江・吉浜 |
| 8 入学者選抜委員会 | 神田・山田・ |
| 9 校務支援システム | 神田・切江・長野 |
| 10 学校要覧（教育計画） | 神田・伊藤・蘆野 |

<時間割係> ◎切江

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 時間割の作成と運用 | 切江・長野・竹内・伊藤 |
| 2 時数調整 | 切江・長野・竹内・伊藤 |
| 3 時間割登録 | 切江・長野 |

<教務係> ◎神田

- | | |
|-------------------|-------|
| 1 諸調査・記録 | 神田・蘆野 |
| 2 教科書・指導書・補助教材 | 神田・蘆野 |
| 3 諸用紙・物品の整備・保管・供給 | 神田・蘆野 |
| 4 シラバスの集約と作成 | 切江 |
| 5 教科選択 | 切江・蘆野 |
| 6 指導要録の整理・保管 | 全員 |

<学習指導係> ◎山田

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 学習指導に関わる企画・推進 | 山田・竹内・吉浜 |
| 2 各種テスト・学習評価 | 山田・竹内・吉浜 |
| 3 成績資料の整備・保管 | 山田・竹内・吉浜 |

<情報係> ◎切江

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1 校内Wi-Fi及びサーバの維持・管理等 | 切江・竹内・仁藤 |
| 2 ICT機器の維持・管理等 | 切江・竹内・仁藤 |
| 3 各種アカウントの管理 | 切江・竹内・仁藤 |
| 4 学校HPの更新及び維持・管理 | 切江・竹内・仁藤 |
| 5 学校メールの運用 | 切江・竹内・仁藤 |

<視聴覚係> ◎仁藤

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 視聴覚機器の利用促進 | 仁藤・吉浜・切江 |
| 2 視聴覚教室及び機材の整備・保守等 | 仁藤・吉浜・切江 |

<図書係> ◎蘆野

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1 図書資料・図書室利用の指導 備品などの整備 | 蘆野・仁藤 |
| 2 図書購入・分類・貸出業務 広報活動の促進 | 蘆野・仁藤 |

5. 重点目標に対する評価の観点

- 1 校内研修での情報共有で見える化を行い、各教科の授業改善につなげることができたか。
- 2 対話型授業やICT活用について先生方から情報を収集し学校全体で共有できたか。
- 3 校内研修等で評価の考え方や実施方法を確認し適切な評価を実施できたか。

令和8年度 【生徒支援部】

1 方針

1. 一人一人の個性や能力に応じた支援を充実させるために、全職員の共通理解と協働体制を図る。
2. 身だしなみや礼儀等のモラルやマナーについての共通認識を育成し、互いを尊重しながら安心安全な学校生活を過ごせるよう支援する。

2 重点目標

1. 生徒理解を深め、共感的な人間関係の構築を推進し、生徒の個性や可能性の伸長を図る。
2. 心と身体の健康を保持し、自己管理能力を高めることができるよう支援する。
3. いじめや暴力など問題行動の未然防止に努め、早期発見・早期対応を組織的に推進する。

3 月別業務計画

月	実施計画	生徒会年間計画
4	①学校いじめ対策委員会（いじめ防止対策方針確認・公表） 「身だしなみ講話」 (1)教育相談アンケート <u>1</u> 教育相談週間 安全指導(1)自転車通学届受付・自転車保険、J R利用者 健康診断・健康相談	生徒会支援、行事計画等立案 生徒会入会式、部員調査 クラス役員選出、各種委員会
5	グループエンカウンター (1)「生徒理解アンケート(hyper-QU)」の活用 「四輪免許取得説明会」(3学年) S C来校 健康診断・健康相談	壮行会 高体連 生徒総会
6	②学校いじめ対策委員会 PTA 街頭活動 第1回「いじめアンケート」 「性に関する講話」(1学年) 「ネットトラブル防止講話」(全学年) S C来校 健康診断・健康相談	当高祭細案説明
7	いじめアンケート結果公表 「非行防止教室(薬物乱用防止含む)」(全学年) S C来校	当高祭、部活動活動状況
8		
9	「デートDV防止講話」(1学年) ③学校いじめ対策委員会 「学校いじめ対策組織」チェックリスト 「交通安全講話」(全学年)交通安全キャンペーン参加 S C来校	
10	自動車学校入校許可(未定) S C来校	生徒会役員・クラス役員改選 各種委員会
11	④学校いじめ対策委員会 PTA 街頭指導 第2回「いじめアンケート」 「心の健康講話」(1学年) S C来校 (2)教育相談アンケート <u>2</u> 教育相談週間	生徒会誌「泥炭地」編集業務
12	いじめアンケート結果公表 S C来校	文化スポーツ大会
1	⑤学校いじめ対策委員会	
2	第3回「いじめアンケート」 「学校いじめ対策組織」チェックリスト	生徒会誌「泥炭地」発行
3	⑥学校いじめ対策委員会	生徒会決算・予算案作成 部活動活動状況確認・日誌回収

4 係分担 (主任：原田 副主任：高橋真一)

<総括>

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 分掌業務総括・企画連絡調整 | 原田・高橋真一 |
| 2. 問題行動対応 | 原田・高橋真一 |
| 3. 各種統計・調査報告 | 原田・高橋真一 |
| 4. 職員研修 | 原田・高井 |
| 5. 年間計画 | 原田・高井 |
| 6. 生徒心得内容・制服検討(身だしなみ講話) | 原田・高橋真一・高井 |
| 7. 遅刻入室届在庫管理 | 永田・高井・坂井 |

<校内係>

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. いじめ対応 | 原田・高橋真一・鈴木 |
| 2. 教育相談・人権(心の健康講話) | 原田・高橋真一・鈴木 |
| 3. 非行防止教室(薬物乱用含む) | 高橋真一・辻 |
| 4. 人権(デートDV講話) | 原田・辻 |
| 5. ロッカー及び鍵管理・落とし物・指定服物品 | 高井・永田・小倉・高橋真理 |
| 6. 集会指導 | 原田・高橋真一・高井 |

<校外係>

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1. 登下校支援活動 | 原田・高橋真一・高井 |
| 2. 交通安全啓発活動(講話・標語) | 高井・永田・小倉 |
| 3. アルバイト・自転車通学(保険)・四輪免許 | 高井・永田・高橋真理 |
| 4. 生徒支援部通信 | 原田・鈴木 |
| 5. 身分証・個人写真 | 原田・小倉 |
| 6. SNS・ネット監視(ネットトラブル防止講話) | 高井・小倉 |
| 7. 当別駅ギャラリー | 永田・小倉 |

<生徒会>

- | | |
|--|---|
| 1. 生徒会執行部・部局活動の統括・ | 高井・永田・小倉 |
| 2. 生徒会行事の企画調整・実施細案 | 高井・永田・小倉 |
| 3. 生徒総会・役員選挙・認証式 | 高井・永田・小倉 |
| 4. 生徒会会計業務・予算決算報告 | 高橋真一・永田 |
| 5. LHR計画 | 辻・小倉・高橋真理 |
| 6. 生徒会各種委員会活動の支援
(代表委員会・選挙管理委員会)
(体育委員会)
(文化委員会・生徒会誌「泥炭地」)
(保健委員会) | 高井・原田
辻・高橋真理
永田・小倉
高橋真一・鈴木・(総務部) |

<保健係> ※保健主事：高橋真一

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 生徒の健康診断、健康管理・指導 | 鈴木・高橋真一・坂井 |
| 2. 健康調査および諸資料の整理・保管 | 鈴木・高橋真一・坂井 |
| 3. 生徒の疾病・負傷などの応急処置および医師との連絡 | 鈴木・高橋真一・坂井 |
| 4. 学校災害共済給付に関すること | 鈴木・高橋真一・坂井 |
| 5. 保健室および薬品管理に関すること | 鈴木・高橋真一・坂井 |
| 6. 学校環境、衛生に関すること | 鈴木・高橋真一・坂井 |

<外部連携>

- | | | | |
|---------------|----|--------------|----|
| 当別地区青少年指導センター | 原田 | 当別町児童生徒連絡協議会 | 原田 |
| 北地区教護協会幹事会 | 高井 | | |

<各種委員会>

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 運営委員会 | 原田・高橋真一 |
| 2. 教育課程委編成・教科書選定委員会 | 原田・高橋真一・高井 |
| 3. 入学者選抜委員会 | 原田・高橋真一・高井 |
| 4. 学校生活(生徒支援)委員会 | 原田・高橋真一・鈴木 |
| 5. 学校いじめ対策委員会 | 原田・高橋真一・鈴木 |
| 6. 学校保健・衛生・防災委員会 | 原田・高橋真一・鈴木 |
| 7. 体育文化委員会 | 原田・高橋真一・高井 |
| 8. 表彰委員会 | 原田・高橋真一 |

5 重点目標に対する評価の観点

1. 生徒理解を深め、共感的な人間関係の構築を推進し、生徒の個性や可能性の伸長を図ることができたか。
2. 心と身体の健康を保持し、自己管理能力を高めることができるように支援することができたか。
3. いじめや暴力など問題行動の未然防止に努め、早期発見・早期対応を組織的に推進することができたか。

令和8年度 進路支援部年度方針

1 方針

1. 生徒の自己個性の把握を支援するとともに、積極的な個性伸長に取り組む姿勢を育成する。
2. 生徒が自己の可能性を広げる喜びを知り、適性に応じた進路選択および決定ができるよう支援する。

2 重点目標

1. 自己の人生形成意識（キャリア意識）の喚起、醸成
2. 自他の存在意義を尊重し、規範意識を備えた社会人育成に資するキャリア支援
3. 学年・学科及び保護者、地域社会と連携したキャリア教育の推進

3 年間支援計画

月	1 年	2 年	3 年	その他
4	振り返り講習 職業レディネステスト	進路希望調査提出 講習第1クール案内	進路希望調査提出 進路別ガイダンス 講習第1クール案内	GrowUp ノート・ワーク完成、配布
5	オール進路オリエンテーション リフレクション演習	オール進路オリエンテーション 講習第1クール開始	オール進路オリエンテーション 講習第1クール開始	道進協就職研究委員会 専門学校志望生徒把握 ネバギバⅠ
6	総探の課題設定支援	Umeets運営協力	Umeets運営協力 就職ガイダンス（求人票の見方）	総合型選抜志望生徒把握 公務員志望者出願支援 ネバギバⅡ
7	夏期講習案内 進路希望調査配布 夏期講習開始	夏期講習案内 進路希望調査配布 三者面談準備開始 夏期講習開始	夏期講習案内 総合型選抜指導開始 就職希望者履歴書作成開始 当別町企業説明会 就職希望者企業見学申込、開始 夏期講習開始	求人票公開（1日） 道進協進学・就職合同研究会
8	進路希望調査回収 講習第2クール案内	進路希望調査回収 講習第2クール案内	就職希望者・面接練習開始 ・履歴書完成	生徒の振り返りレポート 共有会（夏休校内研修） 推薦委員会（就職）
9	講習第2クール開始 ジョブインタビュー	講習第2クール開始	講習第2クール開始 就職模擬面接（町内企業経営者） 就職試験解禁（16日） 大学推薦希望者受験指導開始	就職書類発送 局・HW各種報告開始 推薦委員会（進学） ネバギバⅢ
10	どうべつmiraiフェス 参加生徒指導 探究課題選択支援	どうべつmiraiフェス 参加生徒指導	進学、就職個別指導 進路活動振り返りスライド作成	進学書類発送 ネバギバⅣ
11	ベネッセ11月模試	進路別ガイダンス ベネッセ11月模試 三者面談用スライド作成 G A T B	（就職合同説明会Ⅰ） 進路活動振り返りスライド作成	道進協就職研究委員会 ネバギバⅤ
12	冬期講習案内 合格体験報告会 進路希望調査配布 冬期講習開始	冬期講習案内 合格体験報告会 進路希望調査配布 冬期講習開始 三者面談（～2月）	進路活動振り返りスライド作成 合格体験報告会 内定者指導	HWによる就職未内定者 指導案内
1	進路希望調査回収 講習第3クール案内・開始	進路希望調査回収 講習第3クール案内・開始		生徒の振り返りレポート 共有会（冬休校内研修）
2	進学資金説明会	進学資金説明会		未内定者への就職合同説明会Ⅱ案内 道進協就職研究委員会 ネバギバクエスト 次年度総探計画作成開始
3	年間振り返り 進路希望調査配布	年間振り返り 進路希望調査配布		次年度用EVIC テーブル作成 進路シラバス作成

4 係分担

主任：松本 副主任：水上

〈分掌総務〉

1. 分掌業務の統括・連絡調整（松本）
2. 進路関連行事の立案（古谷・松本）、運営（当該学年中心）
3. 進路シラバスの作成（松本）
4. 進路希望調査の実施・集約・報告（岩城・市澤）
5. 各種模擬試験、適性検査の立案・実施（水上・岩城・市澤）
6. 講習計画、立案、運営（岩城・市澤・古谷）
7. 来客対応（松本・水上・藤森・古谷）
8. 関係文書、公文書等の授受・整理・保管（松本）
9. 教育局、ハローワークの各種調査報告（松本）
10. 各種会議・学校運営協議会（年3回）、・新規高卒者職業紹介学校連絡会議（6月）
・北海道高等学校進路指導協議会（年4～5回：就職研究委員会協力委員：松本）
11. 学年指導：1年（市澤）2年（岩城）3年（藤森）

〈3学年進路支援〉

1. 進学者/就職者の個別スケジュール管理（松本、（3年担任））
2. 進学/就職書類の作成（松本）、発送・保管（松本・水上）
3. 調査書・証明書発行事務（3担・松本・事務長）
4. 指定校推薦・指定校求人情報の管理、公開（水上）
5. 求人検索システム管理、企業持参/送付求人票の整理、システム公開（水上・松本・藤森）
6. 進路に関する郵送物の受領・整理・保管（水上）
7. 推薦委員会の運営（松本）

〈総合的な探究〉

1. 3年間のグランドデザイン（古谷）
2. 普通科総探企画の渉外、運営（岩城・市澤・古谷）
3. 地域魅力化コーディネーターとの連携（古谷・水上・岩城・市澤・松本）
4. 生徒の振り返りレポートへのフィードバック（古谷・岩城・市澤・水上）
5. ネバギバ（粘議場）・ネバギバクエストの運営（古谷・水上・岩城）
6. 外部コンテストへの参加案内、指導（古谷・市澤）
7. 物品購入、会計処理（岩城・市澤）

〈進学奨学金関係事務〉

1. 日本学生支援機構奨学金に関する担任、生徒、保護者への連絡、手続等事務（藤森）
2. その他の進学者対象奨学金に関する業務（藤森）

5 重点目標に対する評価の観点

1. 分掌からの働きかけにより、生徒個々のキャリア意識が伸長されたと実感できたか。
2. 総合的な探究活動等を通して、生徒個々が、互いの存在意義を尊重する姿勢と社会人としての規範意識とを高められたと実感できたか。
3. 進路行事や総合的な探究活動において、教職員が連携し保護者や地域社会へ理解と協力を求めることができたか。

部・外局・同好会一覧

	名 称	顧 問		部員数
運動系部	テ ニ ス 部	高井	古谷	9
	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	神田	小倉	4
	バ ト ミ ン ト ン 部	岩城	近藤	8
	陸 上 競 技 部	藤森	市澤	6
	運 動 部 付 顧 問	原田	辻	
文化系部	吹 奏 楽 部	切江	高橋真一	8
	写 真 部	岡本	吉浜	5
	漫 画 研 究 部	幡野		8
	美 術 部	高橋真理		6
	情 報 処 理 部	仁藤		1
	文 化 部 付 顧 問	竹内		
外局	放 送 局	松本		3
	図 書 局	水上	蘆野	5
	ボ ラ ン テ ィ ア 局	山田	伊藤	6
執行部	生 徒 会	高井 永田 小倉		15
	農 業 ク ラ ブ	幡野 永田		7
	家 庭 ク ラ ブ	長野 伊藤 山田		6

令和8年度行事・LHR計画

日	曜日	時	1学年	2学年	3学年
4月8日	水		入学式(学級開き)	式場設営(行事)	新年度に向けて
4月9日	木	1	学習力チェック	学習力チェック	式場後片付け(行事)
4月10日	金			身だしなみ講話(行事)	
4月10日	金	6	当高生活のしおり①	学年集会・身だしなみ点検	
4月13日	月	4	当高生活のしおり②		
4月13日	月	5	前期HR役員選出		
4月13日	月	6	全校集会(生活・通学マナー・整列指導)5短7h(行事)		
4月20日	月	5	教育相談週間(5h授業)		
4月27日	月	6	生徒総会議案審議(行事)		
5月8日	金	6	壮行会(行事)		
5月11日	月	6	高校生活に向けて(学年集会)	学校祭準備①	地域活動
5月18日	月	6	生徒総会(行事)		
5月25日	月	6	hyper-QU実施		進路学習
6月1日	月	5	学校祭細案説明(行事)		
6月1日	月	6	学校祭クラス討議		
6月8日	月	6	学校祭に向けて①	学校祭準備②	進路指導学習・学校祭準備
6月15日	月	6	性に関する講話	学校祭準備③	進路指導学習・学校祭準備
6月22日	月	6	学校祭に向けて②	学校祭準備④	進路指導学習・学校祭準備
6月29日	月	6	ネットトラブル防止講話(行事)		
7月6日	月	6	学校祭に向けて③	学校祭準備⑤	進路指導学習・学校祭準備
7月23日	木	4	夏休みに向けて		
8月24日	月	6	2学期に向けて		
8月31日	月	6	学年・クラス対応	見学旅行準備①	進路指導学習
9月7日	月	6	デートDV講話	見学旅行準備②	進路指導学習
9月14日	月	6	学年・クラス対応	見学旅行準備③	進路指導学習
9月18日	金	5	交通安全教室(行事)		
9月24日	木	6		見学旅行準備④	
9月28日	月	6	生徒会役員選挙(行事)		
10月1日	木	6	後期HR役員選出		
10月5日	月	6	後期に向けて(学年集会)	見学旅行結団式	進路指導学習
10月13日	火	6		見学旅行まとめ①	
10月20日	火	6		見学旅行まとめ②	
10月26日	月	6	生徒会役員認証式(行事)		
11月2日	月	6	学年・クラス対応	見学旅行まとめ③	進路指導学習
11月9日	月	6	学年・クラス対応	三者面談用スライド作成①	進路指導学習
11月16日	月	6	文化スポーツ大会選手選出		
11月30日	月	6	学年・クラス対応	三者面談用スライド作成②	文化スポーツ大会に向けて
12月7日	月	6	学年・クラス対応	三者面談用スライド作成③	高校生活の振り返り
12月14日	月	6	学年・クラス対応	三者面談用スライド作成④	外部講師による出前講座①
12月21日	月	6	学年・クラス対応		外部講師による出前講座②
12月24日	木	4	冬休みに向けて		
1月19日	火	6	3学期に向けて		
1月25日	月	6			学年集会
1月29日	金	6			家庭学習期間の過ごし方/卒業式に向けて
2月1日	月	6	学年・クラス対応	進路活動①	
2月8日	月	6	学年・クラス対応	進路活動②	
2月15日	月	6	学年・クラス対応	進路活動③	
2月26日	金	4	卒業式予行(礼法指導)	卒業式予行(礼法指導)	卒業にあたって
3月1日	日	4			卒業式
3月8日	月	6	進路を意識する	一年間を振り返って	
3月24日	水	4	春休みに向けて		

第1学年 基本方針

1 方針

- 1 学校生活を通して学習環境を整え基礎学力向上を目指し、進路目標の具体化を図る。
- 2 学校生活を通して基本的な生活習慣を身につけ、社会性(社会規範を遵守する心と人との関わり)を体得し、自己伸長と自他尊重の心を育む。

2 重点目標

- 1 クラス、学年内の協調や協働する中で相互理解を育み、挨拶をはじめ基本的な生活習慣の定着に努める。
(前期目標)
- 2 校内生活の中で規則正しい生活習慣や社会性を育み、自他尊重と豊かな人間性を育成し、集団としての規範意識を身につけるよう努める。(通年目標)
- 3 地域連携(総合探究)でリーダー性やコミュニケーション能力、そして自他尊重の精神を養い、学習をはじめ自己伸長に努め進路意識を高める。(通年目標)

3 実践項目

- 1 クラスやクラス間において互いに挨拶また自他共に尊重し合い、交流や連携を深め、互いに協力と協働の中で適切なコミュニケーションを意識した心と認め合う心を育む。
- 2 授業中、休み時間などの過ごし方にけじめを意識した行動をとることで、互いに気遣い基本的な社会性を育み、集団としての規範意識を養う。
- 3 日々の授業に取り組み、将来を見据え基本的学習習慣を身につけ、学力の向上を目指す。
- 4 「総合的探究の時間」を通して、校内外の人とのつながりを持ち、自他尊重や自分の考えを伝える「確かで丁寧なコミュニケーション能力」を活用し、自己伸長を育む。
- 5 保護者と連携をとり、生徒の学力の維持向上と基本的な生活習慣の定着を図る。

4 学年業務

- ・総務 学年総括・在籍・転出入・PTA関係・見学旅行・奨学金・渉外・その他
○市澤亮嗣 辻孝洋 竹内聖美 近藤弘之
- ・学習指導 学習指導・教科担任会議(資料作成、集約)・補習・諸統計・タブレット その他
○竹内聖美 伊藤恵里香 神田忠治
- ・生徒指導 規律(服装・頭髮・遅刻等)指導・LHR計画・生徒会・保健(清掃、健康に関わる等)・個別サポート・その他
○辻孝洋 永田圭奈 坂井優
- ・進路指導 進路指導(企画・運営・ガイダンス等)・資料収集提供・その他
○市澤亮嗣 古谷知之 水上麻衣子
- ・総合的な探究の時間 「総探」に関わる計画及び実施に関すること
○古谷知之 市澤亮嗣 水上麻衣子 神田忠治
- ・学年会計 学年費、学級費に関わる収支及び決算
○永田圭奈 水上麻衣子
- ・学年コーディネーター 学習支援が必要な生徒への対応と校内の学習支援に関わる情報の共有と提供等
○古谷知之

5 評価項目

- 1 基本的社会性 1)挨拶 2)自他共に認め合う心 3)適切なコミュニケーションの定着は育めたか。
- 2 校内生活の過ごし方を意識し、互いに気遣い、基本的な社会性は身に付け、集団としての規範意識は身についたか。
- 3 授業中の取り組みに努力が見られ、基礎学力の向上や学習習慣が定着した。
- 4 総合的な探究の時間を通してリーダー性やコミュニケーション能力などの自己伸長を図り、校内外の方々との繋がりを持つことができた。
- 5 保護者(家庭)との連携を図り、生徒の諸問題等に互いに協力し合うことができたか

2 学年基本方針

1 方針

学校生活を通して進路を見据えた学習習慣の確立を図る。また、下級生の模範となる意識を持ち、自らを律する態度を養う。

2 重点目標

1. 進路意識を高め、主体的な学習習慣の定着に努める。
2. 規律を守り他者を思いやる姿勢を大切にし、社会に出る素地を育む。
3. 地域連携などを通してリーダー性を養い、自発的に正しく判断し行動する力を育む。

3 実践項目

1. 進路学習や日々の学習を通して、自律した学習習慣を確立させる。
2. 各種行事や日々の生活において、下級生の模範となる自覚と他者を思いやる姿勢を育む。
3. 各科の活動の中で社会との接点を設定し、自発的に行動する力を養う。

4 学年業務

- ・総務：学年総括、在籍、転出入、学年PTA、見学旅行、渉外 他
○岩城 京佑 山田 真代 小倉 愛花 幡野 洋
- ・学習指導：学習指導、補習、教科担懇談会、諸統計（考査等）、朝学習、LHR計画等
○山田 真代 切江 智大 蘆野 真弓
- ・生徒指導：規律（服装・頭髪）及び集団行動指導等、行事（生徒会・学校）
○小倉 愛花 高井 景子 原田 宏明 鈴木 淳子
- ・進路指導：進路指導計画・進路ガイダンス・面接指導・資料収集（提供）・講習
○岩城 京佑 山田 真代 幡野 洋
- ・健康安全：清掃活動・健康診断・スポーツ振興センター・健康管理 等
鈴木 淳子 幡野 洋 小倉 愛花
- ・総合的な探究の時間：「総合的な探究の時間」の計画と実施に関係すること
（普）岩城 京佑 （園）幡野 洋 （家）山田 真代
- ・学年会計：入学時納入金の収支決算
幡野 洋 切江 智大
- ・記録：各種行事等の記録
切江 智大 岩城 京佑

5 評価項目

1. 進路意識を高め、主体的な学習習慣の定着することができたか。
2. 規律を守り他者を思いやる姿勢を大切にし、社会に出る素地を育めたか。
3. 地域連携などを通してリーダー性を養い、自発的に正しく判断し行動する力を育めたか。

令和8年度(2026 年度) 3学年基本方針

1 基本方針

それぞれの将来へ明確なビジョンをもてるよう、これまでに培った力を自己実現や進路実現のために発揮できるように支援する。

2 重点目標

(1) 生徒中心の授業を展開し、生徒の資質と能力を伸ばす。

★目指す力:創造力、積極性、探究心、課題解決力

(2) 生徒理解及び生徒対応を図り、生徒が安心して学べる環境を整える。

★目指す力:協調性、尊敬心

(3) 保護者との連携を密に図り、生徒が自ら選択した進路実現ができるよう支援する。

★目指す力:尊敬心、創造力、積極性、探究心、協調性、課題解決力

3 実践項目

(1) 生徒が自身の学びに主体的に関われるようにする。

(探究型学習、協働的な学びや ICT を活用したアウトプットの可視化を取り入れる)

(2) 個別の事案について未然防止や円滑化を目指し、情報共有を正確かつ迅速に実施する。

(朝の打ち合わせ時に各担任より気になる生徒情報、各分掌より行事等に関わる連絡を行う)

(3) 自身の将来や周囲に目を向け、進路を決定していけるようにする。

(生徒自身が他者の目を意識し、学校生活や進路活動に取り組めるようにする)

4 学年業務

(1) 総 務:学年総括・在籍・転出入・学年PTA・渉外・奨学金等

○吉浜 藤森 高橋ま

(2) 学習支援:朝学習計画・教科担任懇談会資料作成・集約

○吉浜 仁藤 長野

(3) 生徒支援:規律(服装・頭髮・等)及び集団行動指導・LHR 計画・行事・個別サポート

○高橋ま 高橋し 基本全員対応(適宜役割分担を行う)

(4) 進路支援:進路支援計画・進路希望調査・進路ガイダンス・面接指導・資料収集(提供)・講習

○松本 藤森 基本全員対応(適宜役割分担を行う)

(5) 記 録:卒業アルバム・写真撮影

○藤森 岡本 大淵

(6) 探 究:総合的な探究の時間の計画と実施

(普)○松本 吉浜 藤森

(園)高橋し 大淵

(家)高橋ま 長野

(7) 学年会計:学年費や学級費等の管理と決算

○藤森 吉浜 高橋ま

5 評価項目

(1) 生徒中心の授業を展開し、生徒の資質と能力を伸ばすことができたか。

(2) 生徒理解及び生徒対応を図り、生徒が安心して学べる環境を整えることができたか。

(3) 生徒が自ら選択した進路実現ができるよう支援することができたか

【園芸デザイン科】

< 年度方針 >

1 方針

専門授業を通して農業の基本的な知識と技術を学び、農産物の生産技術向上や食品加工における衛生教育の徹底を図り、**6次産業化を推し進める。**

また、地域課題を真摯に受けとめ、地域における学校(学科)のあり方を検討し、持続可能な産業人として必要な資質・能力を育成する。

2 重点目標

- (1) 水稻、畑作、花卉、野菜栽培、食品加工の学びを通して地域における農業の果たす役割や重要性を理解させる。
- (2) 「地域とともに」を目標に当別町の関連産業と連携を図り、販売会や実践活動を展開し、生徒のやる気を引き出す活動となるように創意工夫をしながら授業改善に取り組む。
- (3) 学校農業クラブ活動による校外活動や各種競技会への挑戦をととして科学性・社会性・指導性を高め、産業人としての資質の向上に努める。

3 学科内業務

< 総務・企画 > (◎辻 ○高橋)

- (1) 校外校内文書の取扱いに関すること。
- (2) 予算運用および、科内会議に関すること。
- (3) コース・教科・科目に関すること。
- (4) 渉外に関すること。
- (5) 農クOB会との連携

< 農業クラブ > (◎幡野 ○永田〈会計〉)

- (1) 農業クラブ活動全般に関すること。
- (2) 専門分会活動に関すること。

< 資格取得 > (対応学年・対応科目に準ずる)

- (1) 検定・資格に関すること。
 - (2) 検定実施主体等との連絡調整。
 - (3) 外部・校外に関すること。
 - (4) 2年生、製菓衛生師資格取得に向けて、学習を展開。1年生、次年度に向けての説明調査
- 2学年：農業技術検定(幡野) 製菓衛生師(永田)
1学年：製菓衛生師説明・調査等(永田 辻)

< 学科・農場運営 > (◎辻 ○高橋真・幡野・永田・大淵・坂井)

- (1) 授業と連動、意識した農場環境づくりと効果的な運営を行う。
- (2) 地域の環境と産業に配慮した開かれた農場づくりを展開する。
- (3) 環境に配慮した持続可能な循環型農業の実践を行う。
- (4) 農業実習及び加工実習が安心・安全な実習となるように準備・確認を徹底させる。
- (5) GAPやHACCP的な考え方を遵守し、実習施設・設備の整理・整頓・整備を進めていく。

4 年間実施計画

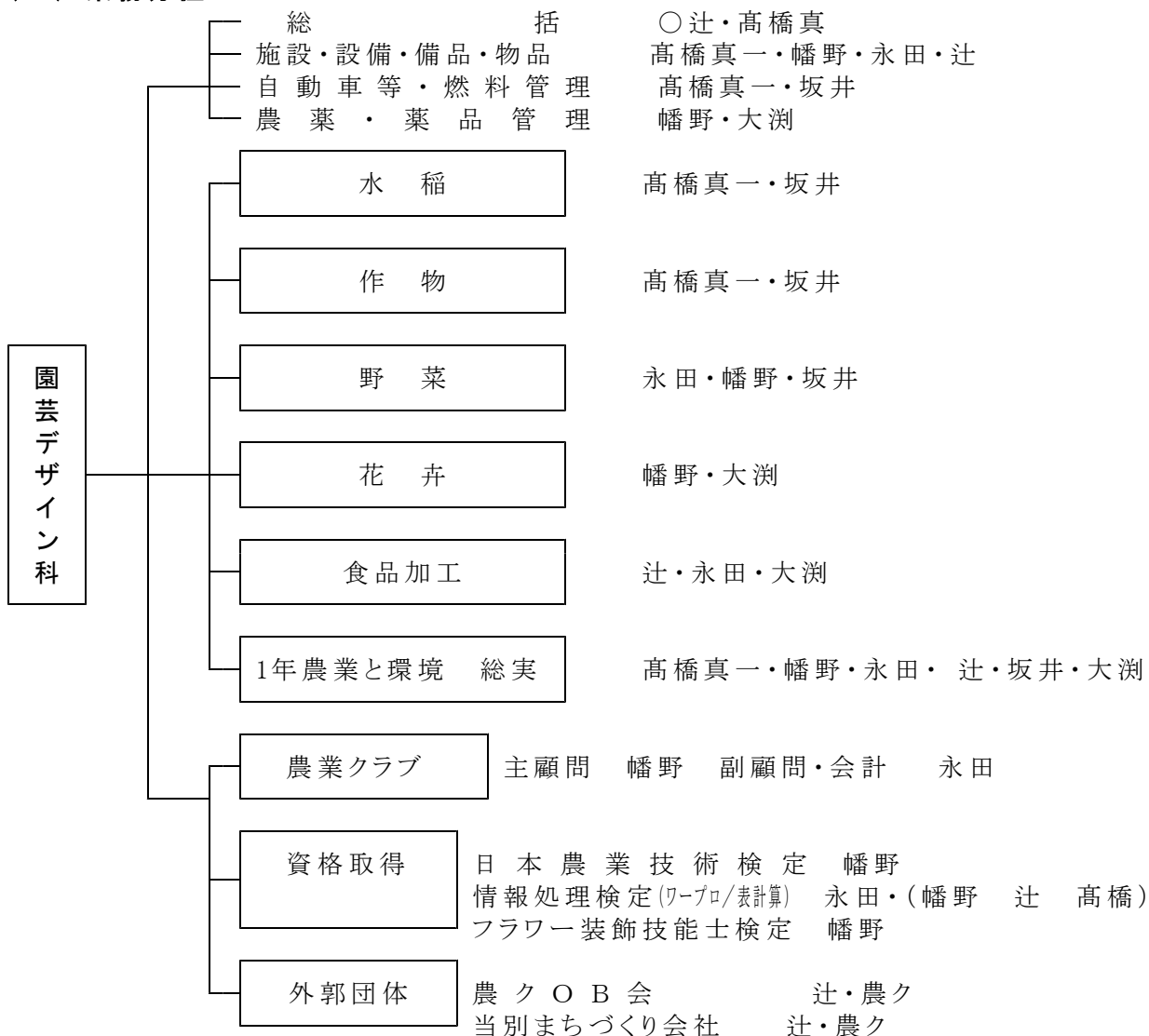
	校 内 活 動	校 外 活 動	備 考
4月	4/16 農ク入会式・対面式 4/23 米袋デザイン講習会 4/30 農ク年度始め総会	4/28 ライフオート花壇造成Ⅰ(2・3年)	
5月	5/27 校内意見発表大会	5/14 花・野菜苗販売会 5/21 南連農ク年度始め総会 & リーダー研修会(留寿都)	実発申込×切5/19 実発原稿×切5/22 実発記録簿×切5/29
6月		6/27 花フェスタ2026札幌 6/11～12 南連農ク実績発表大会(倶知安)	意発申込
7月	7/2 校内技術競技大会	7/8 ライフオート花壇造成Ⅱ(1～3年) 7/16～17 南連農ク意見発表大会(とわの森) 園デ科体験会(中学生向け)	総合農学研究会
8月		8/6～7 農ク全道技術競技大会・フラワー(旭川) 8/19～21 農ク全道実績発表大会(真狩) 8/27～28 農ク全道意見発表大会(剣淵)	
9月		9/8～9 インターンシップ(2年) 9/2 ライフオート花壇造成Ⅲ(1・2年)	9/4 中学生体験入学
10月		10/10 農業高校収穫祭イオン 10/21～22 農ク全国大会(四国) 10/24～25 全国産業教育フェア(佐賀)	
11月	11/5 収穫感謝祭 11/13 役員選挙	シクラメン・野菜販売会	11/20 南連農ク秋期顧問会議(留寿都)
12月	12/6 農業技術検定 12/10 校内実績発表大会	12/6 農業技術検定 米販売実習	
1月			農業教育研究集会 1/28～29 農ク指導者研修会
2月			2/15～16 南連農ク年度末顧問会議(札幌)
3月			

5 評価項目・観点

- (1) 専門教科の学びを通して地域における農業の果たす役割や重要性が理解できたか。
- (2) 当別町の関連産業と連携を図り、販売会や実践活動を展開し、生徒のやる気を引き出せるような授業改善に取り組めたか。
- (3) 学校農業クラブ活動による校外活動や各種競技会への挑戦をととして科学性・社会性・指導性を高めることができたか。

6 農場運営計画

(1) 業務分担



(2) 教育農場

ア 農場実習施設

- (ア) 農場管理室・・・270㎡
 (イ) 園芸実習室・・・220㎡
 (ウ) 穀物調整実習室・・・200㎡
 (エ) 温室(4棟)・・・90㎡×4

イ 実習地

地 目	面 積
ビニールハウス	100㎡×2
露 地 圃 場	A : 1200㎡ (12 a) B : 180㎡ (1.8 a) C : 210㎡ (2.1 a) D : 72㎡ (0.72 a) E : 90㎡ (0.9 a) F : 900㎡ (9 a)
水 田	40 a

ウ 校舎内実習施設

- 1階：第2調理室(食品加工) 2階：土肥室 バイオクリーン室(農ク室)
 3階：応用微生物室

実習農場計画



令和8年度 年度方針 【家政科】

1 方針

食物と保育に関する基礎的・基本的な知識と技能を体験的に習得させ、地域産業や地域社会とかわかすることで、主体的・対話的な深い学びを図り、地域社会に貢献する精神と実践力を持つ、将来の生活産業を担うスペシャリストの育成を目指す。

2 重点目標

1. 食物調理、保育に関する基礎的・基本的な知識・技能の精選を図り、系統的な学習指導に努め、各種の資格取得を推進する。
2. 地域産業や地域社会と連携し、実践的な職業教育を推進し、職業人としての規範意識を養成する。
3. 組織的な家庭クラブ活動を展開し、生徒の主体性を伸長するとともに、生活をよりよくしようとする意欲を育てる。

3 月別業務計画

月	校 内 行 事	校 外 行 事
4	家庭クラブ：入会式・総会	北海道技術検定専門委員会（当別）4/13
5	家庭クラブ：家庭クラブ週間	北海道家庭クラブ連盟第1回研究協議会（当別）5/12 全国技術検定専門委員会（東京）5/15
6	3年：保育実習、食物調理特別実習 6/4～6/10 家庭クラブ：高齢者福祉施設訪問① 6/25 家庭科技術検定（食物・保育）	北海道高等学校教育研究会石狩支部家庭部会（札幌6・10・1月） 家庭クラブ石狩支部研究発表大会・総会（札幌北） 風街カフェコラボ
7	1年：製菓衛生師資格取得 保護者説明会 コース選択 1次調査 家庭クラブ：学校祭展示 家庭科技術検定（食物・保育）	全国高等学校家庭クラブ研究発表大会（岐阜）7/30・31 家庭科教育研究協議会（札幌）7/29・30（運営委員） 北海道技術検定委員養成講座（三笠・当別）7/27
8	1年：製菓衛生師 企業奨学金 保護者説明会	家庭部会意見体験発表大会（江別）8/28
9	1年：コース選択本調査 最終決定 2年：保育実習、食物調理特別授業 9/7～9/11 ことぶき大学（コラボ） 家庭クラブ：交通安全教室 9/18	北海道家庭クラブ連盟研究発表大会・総会（倶知安）9/29・30 風街カフェコラボ
10	1年：産業現場見学実習（ライフポート）10/6 2年：インターンシップ 家庭クラブ：高齢者福祉施設訪問② 10/1 役員選挙 10/22	高校生カフェ
11	2年：製菓衛生師 企業奨学金 企業面談（個別） 保育講話（1・2年合同） 家庭科技術検定（食物・保育） 家庭クラブ：HP 校内研究発表大会 11/19 高齢者福祉施設訪問③ 11/12	北海道技術検定専門委員会（当別）11/25
12	家庭科技術検定（保育） 3年：卒業制作発表会 12/7～12/11	
1		北海道高等学校教育研究会
2		当別町少年の意見発表会 北海道家庭クラブ連盟第2回研究協議会（当別）2/16
3	1、2年：合同授業	高校生カフェ

※ 当別夢の国幼稚園の運動会ボランティアは6月または7月に実施

※ ゆとろ、すみれルームへの訪問は催しの内容と日程による

4 業務分担

<総務係> ☆伊藤・蘆野 1 文書の取り扱いに関すること 2 渉外に関すること 3 予算の編成、運用、決算に関すること	<進路係> ☆高橋・伊藤・長野・山田 1 生活指導に関すること 2 進路指導、資格取得に関すること 3 インターンシップに関すること
<実習係> ☆全員 1 実習の指導、安全、衛生に関すること 2 体験学習（調理・保育）に関すること	<家庭クラブ> ☆伊藤・長野・山田・蘆野 1 校内に関すること *長野 2 校外に関すること *伊藤
<技術検定> ☆全員 1 校内に関すること 2 校外に関すること（全国専門委員（食）伊藤）	<校外> ☆全員 1 家庭科技術検定北海道事務局（R6～R8） ○伊藤・高橋・山田・長野 2 全国高等学校家庭クラブ連盟北海道事務局 ○伊藤・長野・山田 3 家庭科技術検定委員養成講座当番校（食物調理） 伊藤・高橋 4 家庭科研究協議会（運営委員） 長野 5 全国高等学校家庭クラブ研究発表大会審査員 山田
<製菓衛生師資格取得関係> ☆伊藤・高橋・山田（担任） 1 通信課程授業、生徒指導 伊藤・高橋 2 保護者との連絡 等 山田	

5 重点目標に対する評価の観点

1. 生徒の実態に即した食物調理コース、保育コースそれぞれの基礎・基本と安全・衛生指導を徹底するとともに、資格取得に積極的に取り組ませることができたか。
2. 専門機関との連携を推進して専門性を深め、次代を担う職業人として自覚ある言動を身に付けさせることができたか。
3. 主体的な活動の計画と組織運営から、学校や地域生活の充実・向上をめざして考え、判断してチャレンジする態度を身に付けさせることができたか。

令和8年度（2026年度）校務分掌等

1 HR担任等 ○副主任 △学年特別支援コーディネーター

	第1学年 【学年主任】市澤亮嗣		第2学年 【学年主任】岩城京佑		第3学年 【学年主任】吉浜康次	
	担任	副担任	担任	副担任	担任	副担任
普通科(A)	市澤亮嗣	△古谷知之	△岩城京佑	高井景子	吉浜康次	仁藤 隆
園芸デザイン科(D)	○辻 孝洋	永田圭奈	小倉愛花	幡野 洋	藤森敬貴	高橋真一
家政科(E)	竹内聖美	伊藤恵里香	○山田真代	切江智大	○△高橋真理	長野早希
学年付	神田忠治 近藤弘之 水上麻衣子 坂井 優		原田宏明 鈴木淳子 蘆野真弓		松本陽子 岡本信幸 大淵雅子	

2 分掌

分掌名	部長名	部 員	○数字:正担任
総 務 (4)	岡本信幸	幡野 洋 近藤弘之 大淵雅子	
学習支援 (9)	神田忠治	伊藤恵里香 吉浜康次③ 山田真代② 竹内聖美① 長野早希 切江智大 仁藤 隆 蘆野真弓	
生徒支援 (9)	原田宏明	辻 孝洋① 高橋真一(保健主事) 高井景子(生徒会) 高橋真理③ 永田圭奈(生徒会) 小倉愛花②(生徒会) 鈴木淳子(衛生推進者) 坂井 優	
進路支援 (6)	松本陽子	市澤亮嗣① 古谷知之 水上麻衣子 岩城京佑② 藤森敬貴③	

3 教科・学科主任・教科担当

	国 語	地歴公民	数 学	理 科	保 体	英 語	家 庭	情 報 術 芸 術	農 業
教 諭	水上麻衣子	切江智大	古谷知之	岡本信幸	藤森敬貴	高井景子	伊藤恵里香	仁藤 隆	辻 孝洋
	松本陽子 小倉愛花	原田宏明	神田忠治 岩城京佑	竹内聖美	市澤亮嗣	吉浜康次 近藤弘之	山田真代 高橋真理 長野早希		高橋真一 幡野 洋 永田圭奈
実担教									坂井 優
指実助									大淵雅子
実助				蘆野真弓			蘆野真弓		
講 師				北川里絵			遠嶋美里	助乗慎一	

4 外部団体担当

P T A校内理事	【教頭】松本 賢 【事務長】鈴木 武 【総務部長】岡本 信幸 【学習支援部長】神田 忠治 【生徒支援部長】原田 宏明 【進路支援部長】松本 陽子		
同窓会	【校長】保格秀規 【教頭】松本 賢 【事務長】鈴木 武 【総務部長】岡本 信幸 【同窓生】蘆野真弓		
農業クラブOB会	【園デ学科長】 辻 孝洋		
家庭クラブ道連事務局	【校長】保格秀規 【教頭】松本 賢 【事務長】鈴木 武 【家政科職員】伊藤恵里香 長野早希 山田真代		
家庭科技術検定委員会	【校長】保格秀規 【教頭】松本 賢 【事務長】鈴木 武 【家政科職員】伊藤恵里香 高橋真理 長野早希 山田真代		
学校運営協議会	【校長】保格秀規 【教頭】松本 賢 【総務部長】岡本 信幸 【学習支援部長】神田 忠治 【生徒支援部長】原田 宏明 【進路支援部長】松本 陽子		
高体連学校理事	藤森 敬貴	高文連学校理事	岡本信幸

5 各種委員会 ◎委員長

○運営委員会 11名

◎教頭	総務部長	学習支援部長	生徒支援部長	進路支援部長
松本 賢	岡本 信幸	神田 忠治	原田 宏明	松本 陽子
園デ科長	家政科長	1 学年主任	2 学年主任	3 学年主任
辻 孝洋	伊藤 恵里香	市澤 亮嗣	岩城 京佑	吉浜 康次
事務長				
鈴木 武				

○防災委員会 6名

◎総務部長	教頭	総務部員	総務部員	事務長
岡本 信幸	松本 賢	幡野 洋	大淵 雅子	鈴木 武
事務部				
高橋 和希				

○生徒募集委員会 8名

◎総務部長	教頭	進路支援部長	普通科総探担当	園デ科長
岡本 信幸	松本 賢	松本 陽子	市澤 亮嗣	辻 孝洋
園デ科	家政科長	家政科		
大淵 雅子	伊藤 恵里香	山田 真代		

○業者選定委員会 7名

◎総務部長	教頭	事務長	1 学年主任	2 学年主任
岡本 信幸	松本 賢	鈴木 武	市澤 亮嗣	岩城 京佑
3 学年主任	事務部			
吉浜 康次	高橋 和希			

○教育課程編成委員会・教科書選定委員会 13名

◎学習支援部長	教頭	学習支援部	進路支援部長	園デ科長
神田 忠治	松本 賢	山田 真代	松本 陽子	辻 孝洋
家政科長	国語科主任	地歴公民科主任	数学科主任	理科主任
伊藤 恵里香	水上 麻衣子	切江 智大	古谷 知之	岡本 信幸
体育主任	英語科主任	商業・情報科主任		
藤森 敬貴	高井 景子	仁藤 隆		

○入学者選抜委員会 14名

◎学習支援部長	教頭（総括）	生徒支援部長	学習支援部 ICT 担当	学習支援部員
神田 忠治	松本 賢	原田 宏明	切江 智大	山田 真代
学習支援部員	園デ科長	家政科長	国語科主任	地歴公民科主任
吉浜 康次	辻 孝洋	伊藤 恵里香	水上 麻衣子	切江 智大
数学科主任	理科主任	英語科主任	事務局	
古谷 知之	岡本 信幸	高井 景子	高橋 和希	

○ICT委員会 5名

◎学習支援部ICT担当	総務部員	生徒支援部員	情報	事務局
切江 智大	大淵 雅子	永田 圭奈	仁藤 隆	高橋 和希

○学校生活委員会 9名

◎教頭	学習支援部長	生徒支援部長	1 学年特別支援C	2 学年特別支援C
松本 賢	神田 忠治	原田 宏明	古谷 知之	岩城 京佑
3 学年特別支援C	養護教諭	該当学年主任	該当担任	
高橋 真理	鈴木 淳子	※	※	

○学校いじめ対策委員会 10名

◎校長	教頭	生徒支援部長	1 学年主任	2 学年主任
保格 秀規	松本 賢	原田 宏明	市澤 亮嗣	岩城 京佑
3 学年主任	園デ科長	家政科長	該当HR 担任	該当学年特別C
吉浜 康次	辻 孝洋	伊藤 恵里香	※	※

○体育文化委員会 6名

◎生徒会顧問	教頭	事務長	生徒支援部長	高体連
高井 景子	松本 賢	鈴木 武	原田 宏明	藤森 敬貴
高文連				
岡本 信幸				

○制服検討委員会 6名

◎生徒支援部長	教頭	生徒支援部	生徒支援部	園デ科長
原田 宏明	松本 賢	高橋 真一	高井 景子	辻 孝洋
家政科長	P T A 役員	生徒会		
伊藤 恵里香				

○学校保健衛生委員会 6名

◎保健主事	教頭	養護教諭	1 学年主任	2 学年主任
高橋 慎一	松本 賢	鈴木 淳子	市澤 亮嗣	岩城 京佑
3 学年主任				
吉浜 康次				

○推薦委員会 5名

◎進路支援部長	教頭	3 学年主任	3 学年担任	3 学年担任
松本 陽子	松本 賢	吉浜 康次	藤森 敬貴	高橋 真理

○拡大生徒支援委員会 15名

◎教頭	学習支援部長	生徒支援部長	1 学年特別支援C	2 学年特別支援C
松本 賢	神田 忠治	原田 宏明	古谷 知之	岩城 京佑
3 学年特別支援C	養護教諭	1 学年主任	1 E 担任	1 E 副担任
高橋 真理	鈴木 淳子	市澤 亮嗣	竹内 聖美	伊藤 恵里香
支援員	支援員	支援員	支援員	支援員
門崎 真美	島田 かおる	北川 里絵	藤田 彩貴	田村 朝美

6 外局・部活動顧問 ◎主担当

部活名		顧問氏名
外 局	ボランティア	◎山田真代 伊藤恵里香
	放送	◎松本陽子
	図書	◎水上麻衣子 蘆野真弓
部活動	バスケットボール	◎神田忠治 小倉愛花
	バドミントン	◎岩城京佑 近藤弘之
	硬式テニス	◎高井景子 古谷知之
	陸上競技	◎藤森敬貴 市澤亮嗣
	吹奏楽	◎切江智大 高橋真一
	写真	◎岡本信幸 吉浜康次
	情報処理	◎仁藤 隆
	美術	◎高橋真理
	漫画研究	◎幡野 洋
部がない活動の引率担当		体育系 ◎原田宏明 辻 孝洋
		文化系 ◎竹内聖美
高体連学校理事		藤森敬貴
高文連学校理事		岡本信幸
生徒会主顧問		◎高井景子 永田圭奈 小倉愛花
家庭クラブ顧問		◎長野早希 伊藤恵里香 山田真代
農業クラブ顧問		◎幡野 洋 永田圭奈

※令和8年度 当番校業務 (後日命課)

・バドミントン女子(支部) 5月

令和8年度道徳教育全体計画

北海道当別高等学校

教育目標(めざす生徒像)

- ・敬愛～自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重する
- ・努力～豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる
- ・実践～多様な人々と協働し、様々な社会的変化・課題を乗り越える

道徳教育の重点目標

- ・自己理解に努め、自律の精神を養う
- ・社会の一員としての自覚を促し、責任感をもって義務を果たす態度を養う
- ・他人を思いやり、人権を尊重する精神を養う

校内推進体制

- ・学習支援 … 道徳教育計画の作成、各分掌・教科との連絡調整
- ・生徒支援 … 服装指導、交通マナー、薬物乱用防止講話等により自律の精神、社会連帯の精神及び自他の生命を尊重する精神を養う。
清掃活動による公共の精神の育成、教育相談により自己理解を支援する。
- ・進路支援 … 進路指導、就業体験を通して社会の一員としての自覚を促し、自己実現を支援する。
- ・生徒会活動 … ボランティア活動、学校行事等を通じて、豊かな心や個性豊かな文化の創造を図る主体性を育成する。
- ・農業クラブ活動 … 地域と連携した活動を推進し、主体的活動を充実させる。
- ・家庭クラブ活動 … 組織的な家庭クラブ活動を展開し、生徒の主体性を伸張する。
- ・ボランティア活動… 地域貢献活動を通じて、相互扶助や生命を尊重する精神、人権を尊重し差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養う。

教科・科目および総合的な探究の時間

公民科	現代社会の諸問題を様々な観点から追求する学習を通じて、自らの個性を発揮、伸張しつつ文化と福祉の発展に貢献するとともに、社会の形成者としての自覚と責任感を養う。
情報科	情報社会の課題とモラルの学習を通じて、義務を果たし責任を重んじる態度及び人権を尊重する態度を養う。
総合的な探究の時間	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

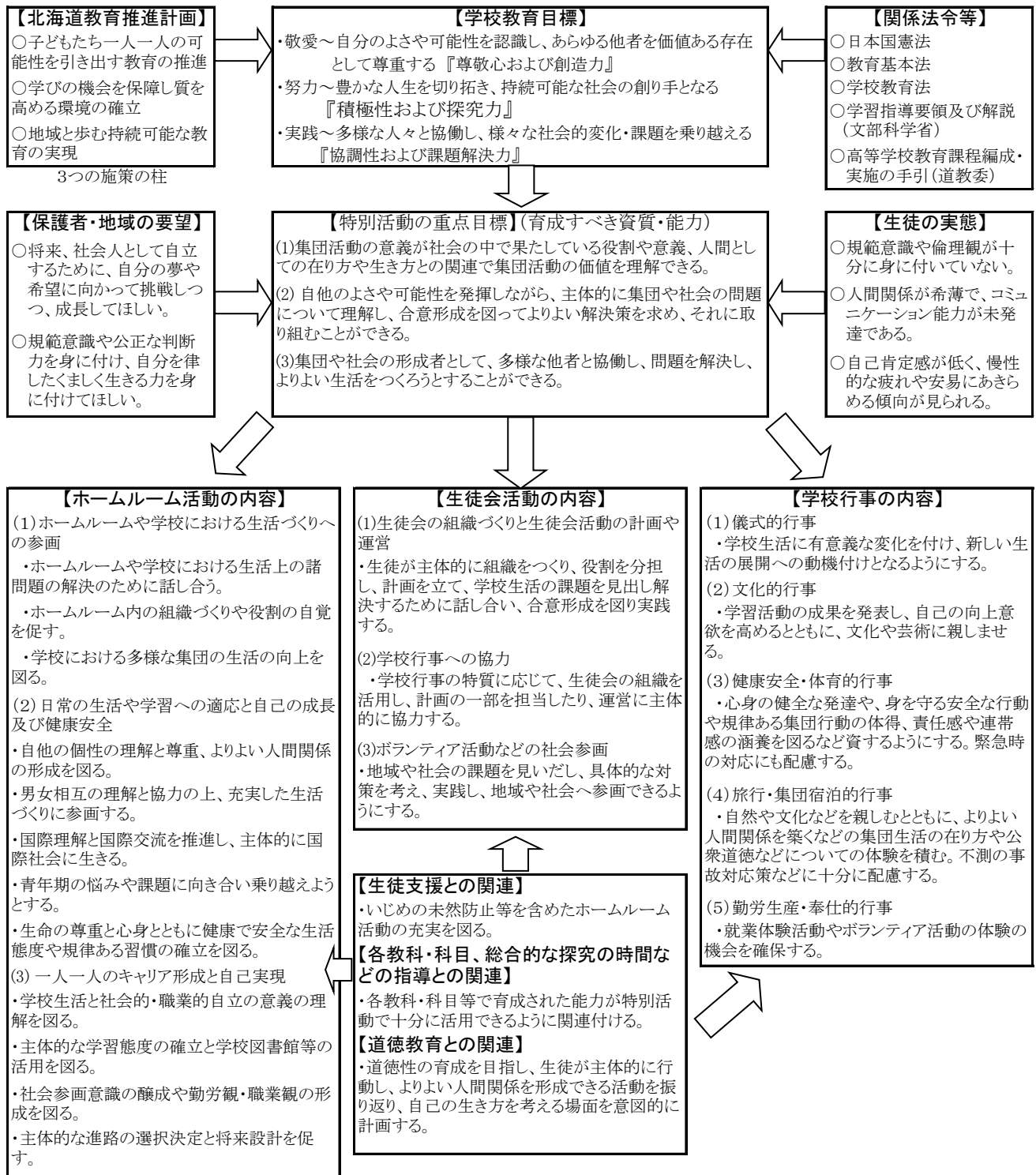
地域との連携

下記の活動により地域との連携を図り、社会性や他者への思いやりの心を養う。

- ・高齢者福祉施設訪問、交流事業
- ・保育所、幼稚園、子育て支援活動との交流事業
- ・インターンシップ
- ・農産物販売
- ・街頭での交通安全呼びかけ
- ・フィールドワーク（地域探究活動）

令和8年度特別活動全体計画

北海道当別高等学校



令和8年度 学校保健計画

月	重点目標	学校及び保健関連行事	保健管理		保健学習(科目 保健)	保健教育(関連教科)		組織活動
			対人管理	対物管理		子どもの健康管理と事故防止(家庭科)	保健指導	
4	・健康診断を受け、自分の健康状態を把握する	・入学式 ・始業式 ・PTA総会 ・生徒定期健康診断 ・教育相談週間	・保健調査 ・校内救急体制確認 ・入学者個別健康相談 ・生徒健康情報の共有	・精除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・薬品管理	・1年「現代社会と健康」 01 日本における健康課題の変遷 02 健康の考え方と成り立ち	・「子どもの健康管理と事故防止」(家庭科) ・調理実習衛生指導(通年・日常的)(家庭科) ・食品設備・施設における一般衛生管理(通年)(園芸デザイン科) ・日本における健康課題の変遷(保健) ・健康の考え方と成り立ち(保健)	・保健室での個別保健指導 ・保健だより発行 ・年間通じた感染症予防対策指導	・学校保健委員会開催 ・衛生委員会開催 ・生徒保健委員会開催 ・ゴミ分別/清掃指導(保健委員)
5	・健康診断を受け、自分の健康状態を把握する ・部活動によるスポーツ障害を予防する	・生徒定期健康診断 ・健康相談 ・生徒健康診断結果と治療 ・グループエンカウンター実施 ・カウンセリング ・hyper-Qu実施	・健康相談 ・生徒健康診断結果と治療 ・グループエンカウンター実施 ・カウンセリング ・hyper-Qu実施	・精除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・薬剤師による水質検査 ・薬品管理	・1年 03 ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり 04 健康に関する意思決定・行動選択 ・2年 03 結婚生活と健康	・ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり(保健) ・健康に関する意思決定・行動選択(保健)	・保健室での個別保健指導 ・保健だより発行	・ゴミ分別/清掃指導(保健委員)
6	・部活動によるスポーツ障害を予防する ・からだを徐々に暑さに慣らす	・性に関する講話(1年) ・ネットトラファル防止教室(全学年)	・健康相談 ・生徒健康診断結果と治療 ・カウンセリング	・精除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・薬品管理	・1年 05 現代における感染症の問題 06 感染症の予防 ・2年 05 家族計画 06 加齢と健康	・食生活のセルフチェック(家庭科) ・食中毒予防の徹底(園芸デザイン科) ・現代における感染症の問題(保健) ・感染症の予防(保健)	・性講話 ・保健室での個別保健指導 ・熱中症予防指導 ・保健だより発行	・ゴミ分別/清掃指導(保健委員)
7	・熱中症予防など夏の健康管理に努める	・薬物乱用防止教室 ・学校祭 ・終業式 ・大掃除	・健康相談 ・カウンセリング	・精除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・薬品管理 ・学校祭期間の清掃計画	・1年 07 性感染症・エイズとその予防 08 生活習慣病の予防と回復 ・2年 07 高齢社会に対応した取組	・食品の安全性(家庭科) ・食中毒予防の徹底(園芸デザイン科) ・性感染症・エイズとその予防(保健) ・生活習慣病の予防と回復(保健)	・学校祭事前保健指導 ・保健室での個別保健指導 ・夏季休業中のう歯治療奨励 ・熱中症予防指導 ・保健だより発行	・衛生委員会開催(職員定期健康診断の実施に向けて)
8	・熱中症予防など夏の健康管理に努める	・始業式 ・職員定期健康診断	・健康相談 ・職員定期健康診断の実施 ・救命救急講習(職員) ・カウンセリング	・精除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・貯水槽清掃・検査 ・薬品管理	・1年 09 身体活動・運動と健康 10 食事と健康 ・2年 08 働くことと健康	・食中毒予防の徹底(園芸デザイン科) ・身体活動・運動と健康(保健) ・食事と健康(保健)	・保健室での個別保健指導 ・熱中症予防指導 ・保健だより発行	
9	・生活習慣を確立する ・見学旅行における健康管理	・テートDV講話(1年)	・健康相談 ・見学旅行事前健康調査 ・職員健康診断結果通知と治療報告 ・カウンセリング	・精除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・薬品管理	・1年 11 休養・睡眠と健康 ・2年 09 労働災害の防止 10 働く人の健康づくり	・保健所による衛生講義(家庭科) ・休養と睡眠(保健) ・がんの予防と回復(保健)	・保健室での個別保健指導 ・保健だより発行 ・テートDV講話による人権指導	・ゴミ分別/清掃指導(保健委員)

月	重点目標	学校保健関連行事	保健管理		保健教育			
			対人管理	対物管理	保健学習(科目 保健)	保健学習(関連教科)	保健指導	組織活動
10	・気温の変化に対応した健康管理をする ・見学旅行における健康管理	・見学旅行 ・フロン大会	・健康相談 ・フロン大会に向けた健康相談 ・カウンセリング	・掃除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・薬品管理	・1年 12 がんの予防と回復 13 喫煙と健康 ・2年「健康を支える環境づくり」 01 大気汚染と健康	・体液と体内環境(理科) ・腎臓と肝臓の働き(理科) ・喫煙と健康(保健) ・飲酒と健康(保健)	・保健室での個別保健指導 ・保健だより発行 ・見学旅行事前保健指導	・生徒保健委員会開催 ・ゴミ分別/清掃指導(保健委員)
11	・心の健康について理解し、意識を高める	・心の健康講話 ・教育相談週間	・健康相談 ・カウンセリング	・掃除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・蒸発皿設置 ・薬品管理	・1年 14 飲酒と健康 15 薬物乱用と健康 ・2年 03 健康被害を防ぐための環境対策 04 環境衛生にかかわる活動	・自律神経系とホルモンによる調節(理科) ・薬物乱用と健康(保健) ・精神疾患の特徴(保健) ・精神疾患への対応(保健)	・心の健康講話 ・保健室での個別保健指導 ・保健だより発行	・ゴミ分別/清掃指導(保健委員)
12	・気温低下に対応した冬の健康管理に努める	・終業式 ・大掃除	・健康相談 ・カウンセリング	・掃除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・薬品管理	・1年 16 精神疾患の特徴 17 精神疾患への対応 ・2年 05 食品の安全性と健康 06 食品の安全性を確保する取り組み ・1年「安全な社会生活」 01 事故の現状と発生要因 02 交通事故防止の取り組み	・生体防御と免疫のしくみ(理科) ・体液性免疫と細胞性免疫(理科) ・血液の働きと出血を止めるしくみ(理科) ・事故の現状と発生要因(保健) ・新しい命への責任(1年)(家庭科) ・青年期の健康(1年)(家庭科) ・交通事故防止のと李久美(保健)	・感染症予防指導 ・保健室での個別保健指導 ・保健だより発行	・ゴミ分別/清掃指導(保健委員)
1	・感染症を予防する	・始業式	・健康相談 ・カウンセリング	・掃除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・学校薬剤師による照度検査 ・薬品管理	・1年 07 保健制度とその活用 ・2年 03 安全な社会の形成 04 応急手当の意義と救急医療体制 ・2年 08 医療制度とその活用 09 医薬品の制度とその活用	・安全な社会の形成(保健) ・応急手当の意義と救急医療体制(保健) ・心臓生活(保健)	・感染症予防指導 ・保健室での個別保健指導 ・保健だより発行	・衛生委員会開催 ・ゴミ分別/清掃指導(保健委員)
2	・感染症を予防する		・健康相談 ・カウンセリング	・掃除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・学校薬剤師による空気検査	・1年 05 心肺蘇生法 06 日常的な応急手当 ・2年「現代社会と健康」 10 様々な保健活動や対策 11 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	・日常的な応急処置(保健)	・感染症予防指導 ・保健室での個別保健指導 ・保健だより発行	・学校保健委員会開催
3	・教室等の環境を美しく保つ意識を高める	・卒業式 ・終了式 ・大掃除	・健康相談 ・カウンセリング	・掃除用具点検・補充 ・AED日常点検 ・水質(残留塩素)日常検査 ・モップクリーニング ・蒸発皿撤去 ・教室カーテン交換・点検 ・薬品管理				

令和8年度 学校安全計画

月	関連行事	安全管理	安全指導	組織活動
4	・始業式 ・入学式 ・身だしなみ講話 ・通学マナー指導	・校内救急体制確認 ・防災自主点検(通年・定期的) ・校内外巡回 ・入学式警備 ・自転車通学開始 ・器具/教材の安全点検	・通学マナー指導 ・ガスバーナー取扱法(理科) ・薬品取扱について(理科) ・農業機具/資材等食品製造機器の安全な扱い方について(園芸デザイン科) ・授業種目が安全に実施できるように、種目における注意事項の徹底(体育科/通年・日常的指導) ・駅頭指導 ・連休前の生活指導 ・調理器具の安全な使い方(家庭科/通年・日常的指導) ・教育相談週間	・防災委員会(防災計画立案)
5		・校内外巡回 ・器具/教材の安全点検 ・学校環境衛生検査	・機械作動時の事故防止について(園芸デザイン科) ・救命救急講習(聖地) ・街頭指導 ・避難訓練指導	・防災委員会(第1回防災避難訓練について)
6	・第1回防災避難訓練	・校内外巡回 ・器具/教材の安全点検	・駅頭/街頭指導 ・救命救急講習(生徒)	
7	・薬物乱用防止教室 ・ネットトラブル防止講話 ・学校祭 ・終業式	・校内外巡回 ・学校祭警備 ・器具/教材の安全点検	・薬物乱用防止講話 ・ネットトラブル防止講話 ・学校祭準備期間の下校指導 ・学校祭安全指導 ・駅頭/街頭/玄関指導	
8	・始業式	・救命救急講習会(職員) ・校内外巡回 ・器具/教材の安全点検	・駅頭指導	
9	・デートDV講話 ・交通安全講話 ・交通安全標語作成 ・交通安全キャンペーン ・第2回防災避難訓練 ・運転免許取得説明会(3年)	・校内外巡回 ・器具/教材の安全点検	・鎌の安全な使い方について(園芸デザイン科) ・交通安全講話 ・避難訓練指導 ・見学旅行安全指導 ・駅頭/街頭/玄関指導	・防災委員会(第2回防災避難訓練について) ・交通安全キャンペーン(PTA・家庭クラブ参加)
10	・見学旅行	・校内外巡回 ・器具/教材の安全点検 ・マラソン大会安全対策(交通整備・救護所設置・観察者での巡回)	・マラソン大会安全指導 ・運転免許取得説明会(3年) ・駅頭/街頭/玄関指導	
11		・校内外巡回 ・自転車通学禁止 ・器具/教材の安全点検	・駅頭/街頭/玄関指導 ・教育相談週間	
12	・文化スポーツ大会 ・終業式	・校内外巡回 ・器具/教材の安全点検	・文化スポーツ大会安全指導 ・農場における落雪事故防止について(園芸デザイン科) ・冬季休業前の生活指導 ・駅頭/玄関指導	
1	・始業式	・校内外巡回 ・器具/教材の安全点検 ・学校環境衛生検査	・駅頭/玄関指導	
2	・同窓加入開式	・校内外巡回 ・器具/教材の安全点検 ・学校環境衛生検査	・駅頭/玄関指導	
3	・卒業式 ・入学者選抜学力検査・面接 ・修了式	・校内外巡回 ・卒業式警備 ・入学者学力検査・面接警備 ・器具/教材の安全点検		

当別高校へのアクセス

北海道石狩郡
当別町春日町84番地 4
TEL 0133-23-2444
FAX 0133-23-2380

